



## COVER PHOTO

NODA・MAP 第23回公演

『Q』: A Night At The Kabuki  
inspired by A Night At The Opera

10月8日(火)～10月15日(火)／11月9日(土)～12月11日(水)  
プレイハウス

作・演出:野田秀樹 音楽:QUEEN

出演:松たか子 上川隆也 広瀬すず 志尊淳

橋本さとし 小松和重 伊勢佳世 羽野晶紀 野田秀樹 竹中直人

共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

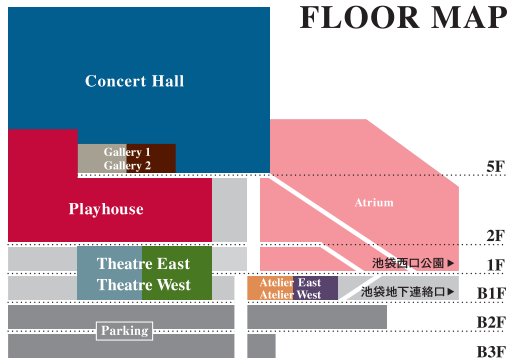


芸劇 BUZZ vol.29

2019年 10・11・12月号 《編集・発行》東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 《編集・デザイン》COM Works 《印刷》(株)技芸堂

東京  
芸術  
劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre

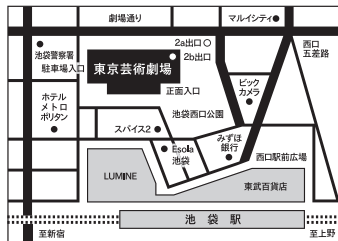


## FLOOR MAP

**1F** 東京芸術劇場ボックスオフィス  
(チケット・総合案内カウンター)  
予約 **0570-010-296**  
お問合せ (休館日を除く10:00～19:00)

**5F** 託児サービス  
東京芸術劇場で公演ご鑑賞のお客様の  
お子様をお預かりします。(要予約)  
HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた  
お問合せ **0120-415-306**  
(平日9:00～17:00)

**B2F・B3F** 東京芸術劇場駐車場  
| 利用料金 | 300円/30分  
| 営業時間 | 7:00～24:00  
| お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1  
| 開館時間 | 9:00～22:00 (休館日も除く)  
| お問合せ | **03-5391-2111**  
JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より  
徒歩2分、池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

アサヒグループホールディングス株式会社  
住友生命保険相互会社  
Bloomberg L.P.

キッコーマン株式会社  
住友化学株式会社

アサヒグループ食品株式会社  
株式会社イープラス  
ANAホールディングス株式会社  
オルガノ株式会社  
香山壽夫建築研究所  
国際興業株式会社  
株式会社サンシャインシティ  
三精テクノロジー株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
株式会社ジェイアール東日本ビルディング

JXTGホールディングス株式会社  
株式会社資生堂  
西武鉄道株式会社  
ソニー銀行株式会社  
第一生命保険株式会社  
株式会社竹中工務店  
多摩美術大学  
株式会社帝国ホテル  
株式会社テレビ朝日  
株式会社テレ・ポーズ  
デンカ株式会社  
東京地下鉄株式会社  
東京臨海熱供給株式会社  
東武鉄道株式会社  
株式会社東武百貨店  
凸版印刷三幸会  
トヨタ自動車株式会社

西池袋熱供給株式会社  
日本生命保険相互会社  
日本電信電話株式会社  
びあ株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅  
株式会社フジテレビジョン  
HOTEL URBAN(ホテルアーバン)  
ホテルメトロポリタン  
株式会社松尾楽器商会  
株式会社松村電機製作所  
丸茂電機株式会社  
三井金属商事株式会社  
三菱地所株式会社  
三菱重工業株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行  
ミュージックスタジオ・フォルテ  
ヤマハサウンドシステム株式会社

有限会社ユーシーペンディング商会  
養老乃瀧株式会社  
読売新聞東京本社  
立教大学  
株式会社ルミネ 池袋店  
レンゴー株式会社  
株式会社ローソンエンタテインメント  
株式会社WOWOW  
渡邊建設株式会社

他 匿名5法人  
2019年9月25日現在

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧くださいか、事業調整係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2116

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.29 2019  
10.11.12.



## 特集・PICKUP

井上道義&  
読売日本交響楽団

NHK交響楽団

ベートーヴェン生誕250周年記念  
ミーツ・ベートーヴェン・  
シリーズ Vol.1 仲道郁代

フィルハーモニア管弦楽団

シアターオペラvol.13

『ラ・トラヴィアータ』(椿姫)／  
音楽大学オーケストラ・フェスティバル

東京芸術祭2019 総合ディレクター  
宮城聡 インタビュー

NODA・MAP 第23回公演  
『Q』: A Night At The Kabuki

フェスティバル/トーキョー19

ワールドコンペティション2019

いんせばらぶる  
inseparable「変半身(かわりみ)」

eyes plus 鳥公園／  
eyes plus ワウフラミンゴ／  
芸劇dance 田中泯

「東京芸術劇場のトリセツ」レポート

## CALENDAR

10月・11月・12月

ファシリテーターのためのワークショップ／  
芸劇こどものアトリエ「空間えほんであそぼう!」／  
大道芸／芸劇+まちがく

池袋西口公園リニューアルオープン!

令和元年10月1日発行



東京芸術劇場presents  
井上道義&読売日本交響楽団  
マーラー／交響曲第3番

## 奇跡を呼ぶ、 マエストロ道義と未来の 声楽家たちの出会い

首都圏大学合同コーラス！ これまであるようでなかった。たと思いついても、各校間の調整の煩雑さを考えるなら諦めるのが普通だろう。その夢に終わりそうな企画を現実のものにしてしまったのが、井上道義と東京芸術劇場の破天荒コンビだ。2018年10月3日、初の試みとなったマーラー：交響曲第8番「千人の交響曲」は、混沌、失敗、焦燥の渦巻く準備期間を経て、最後には学生たちの無尽蔵のエネルギーが爆発した勝利の凱歌となった。合唱総指揮の任にあった私にとっても感動的な時間であり、「ああ、この企画が、この先何年もつづきますように！」と祈ったものである。

そして本年、再び井上道義が降臨する。ますます関係を深める巨匠と読売日本交響楽団による実り豊かなマーラー「3番」。二群の巨大な混声合唱団を擁した長大な「8番」に較べると合唱の比率は少ない(しかも、女声合唱と児童合唱



のみ)が、このペテロの否認とイエスの赦しを題材とする一片のメルヘンに於ける合唱の役割は重要である。今回、合唱指揮を務めるのはアルト独唱者でもある池田香織。第一線で活躍する歌姫のレッスンや歌唱を通じ、学生たちは多くのことを学ぶだろう。発声について、ディクション(発語法)について、歌手の身体作りについて、そして、レッスン現場での態度から舞台上に立つ心構えに至るまで。指揮者、独唱者、オーケストラ…プロ中のプロと未来の音楽家たちとの出会いがどんなに美しい化学変化を見せてくれるのか！

文：福島章恭(合唱指揮者・音楽評論家)

12月6日(金) 19:00開演 コンサートホール 詳細はP17へ  
曲目：マーラー／交響曲第3番 二短調  
指揮：井上道義 アルト：池田香織  
コーラス：首都圏音楽大学合同コーラス(合唱指導：池田香織)  
児童コーラス：TOKYO FM 少年合唱団 管弦楽：読売日本交響楽団



スペイン人が指揮することで、沸き立つような感興をもたらしてくれるはずだ。続くリストのピアノ協奏曲第1番では、ロシアの新鋭ハルトーノフが登場。2015年のチャイコフスキー国際コンクールで第3位入賞した期待の21歳だ。困難な技巧が要求されるこの曲でも、洗練されたテクニックを発揮、絢爛なコーダを築いてくれよう。話題の指揮者と神童ピアニストの化学反応も楽しみだ。後半は、チャイコフスキーの交響曲第1番「冬の日の幻想」。この曲、エラス・カサドにはセントルークス管との録音がある。ラテン的な明るく繊細なバランスのなかで、曲中ふんだんに盛り込まれたロシア民謡を切々と歌わせていたのが印象的だった。今回は、機能性に定評があるNHK交響楽団をエラス・カサドがしなやかにドライブ。ロシアの大地に爽やかな風が吹くだろう。

文：鈴木淳史

12月14日(土) 14:00開演 コンサートホール 詳細はP17へ  
曲目：リムスキー・コルサコフ／スペイン奇想曲  
リスト／ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調  
チャイコフスキー／交響曲第1番 ト短調『冬の日の幻想』  
指揮：パブロ・エラス・カサド ピアノ：ダニエル・ハルトーノフ 管弦楽：NHK交響楽団

ベートーヴェン生誕250周年記念  
ミーツ・ベートーヴェン・  
シリーズ Vol.1 仲道郁代

## 新しいベートーヴェンとの 出会いを求めて

仲道郁代のベートーヴェン演奏ほどに作品への敬愛と慈しみを感じさせるピアニストはいない。個々のソナタ固有の美と作曲者が託した真のメッセージを求め続ける探究者なのだ。

半世紀ぶりに巡ってきた大きなメモリアル・イヤー、ベートーヴェン生誕250周年は奇しくも2020東京オリンピックと重なる。古代ギリシャのオリュンポス祭が体育競技会だけでなく詩作競技も行われていたように、今日のオリンピックにも文化プログラムが並行する。1770年12月16日(17日受洗日)誕生の楽聖ベートーヴェンの記念年はまさに1年間に及ぶ音楽文化プログラムということになる。東京芸術劇場が5人のピアニストによる「ベートーヴェンとの出会い：ミーツ・ベートーヴェン・シリーズ」を年間通して開催する。新年早々にスタートするシリーズのトップ奏者が仲道郁代、シュタイン製、ブロードウッド製そしてモダンピアノの3台を弾き分けてのトーク・コンサートということで今から期待が膨らむばかりだ。



## ピアノの発展とベートーヴェンのピアノ音楽の変遷

ベートーヴェンの生涯はピアノという楽器の進化発展の歴史と軌を一にしている。19世紀初頭の音楽史に燦然と輝くベートーヴェンの交響曲、弦楽四重奏曲そして協奏曲の創作はある期間に集中している。しかし、ピアノ・ソナタだけが40年という長い創作期に点在するのだ。ボン時代、10代前半のベートーヴェンの家にあった鍵盤楽器は小さなクラヴィコードだけであった。1788年6月にヴァルトシュタイン伯爵から贈られたシュタイン製の新しいフォルテピアノはベートーヴェンを驚喜させたに違いないが、まだ音域は5オクターヴ(F<sub>1</sub>〜f<sup>3</sup>ファ〜ファ)に限られ、足(ペダル)で操作するダンパーもなく、機動性の悪い膝椅子(ニー・レバー)操作のダンパー装備の楽器であった。1792年11月以降のウィーン時代初期にはワルター製やシャンツ製の楽器を使っていたが、基本的には同じ5オクターヴ音域あるいは高音域に長2度広い(F<sub>1</sub>〜g<sup>3</sup>ファ〜ソ)の楽器で、ペダル・ダンパーもなかったが《悲愴》ソナタや《月光》ソナタが作曲されている。1803年初夏から使い始めたエラール製ピアノがペダル操作のダンパーを備えた初めての楽器で、音域も高音域に5度広い5オクターヴ半(F<sub>1</sub>〜c<sup>4</sup>ファ〜ド)を持ち、打鍵機構もそれまでのウィーン式アクションとは異なる、重厚で音の強度幅の広いイギリス式アクションであった。この楽器で作曲したのが《ヴァルトシュタイン》や《アパッシヨナータ》であった。ピアノ製作はさらに進化し、1810年代後半には低音域に拡大されたナネット・シュトライヒャー製の6オクターヴ(C<sub>1</sub>〜c<sup>4</sup>ド〜ド)あるいは高音域に拡大されたブロードウッド製の6オクターヴ(F<sub>1</sub>〜f<sup>4</sup>ファ〜ファ)の楽器を手にするようになって、《ハンマークラヴィアー》や最後の3曲セットのソナタが繰り広げる壮麗なピアノ音楽の世界を開花させたのである。

## ベートーヴェン音楽探究者としての仲道郁代

仲道郁代はベートーヴェンのピアノ作品がその作曲当時に使っていた楽器の表現特性を最大限に反映させて作曲されていることを深く理解しているピアニストのひとりだ。ソナタ全曲演奏会シリーズを全国各地で数次にわたって繰り返し、埼玉でのレクチャー・コンサートでは作曲家の故諸井誠と組んだ全ソナタの徹底的アナリーゼ(作品分析)をプレ・コンサートとして行っていた。その後、仲道はモーツァルト研究の第一人者海老澤敏とのコラボレーションによるモーツァルト・ソナタ全曲演奏会でも高評を得た。その結果、まさにモーツァルトを通してベートーヴェン音楽の解釈をさらに深化させたのである。モーツァルト演奏で得た18世紀の歴史演奏様式による装飾法、強弱法等々を今や仲道はオリジナル楽器での演奏表現で実践している。有田正広指揮のクラシカル・プレイヤーズ東京と組んだ協奏曲演奏会シリーズも仲道に大きな力を与えたに相違ない。仲道はオリジナル楽器で確認した表現効果をモダンピアノでどのように生かせるかという新たな次元の演奏に挑んでいる。今回の演奏会では彼女のダンパー・コントロールと打鍵タッチ・コントロールによるダイナミクスの多彩な変化に注目したい。ペダル・ダンパーのないシュタイン・ピアノで《悲愴ソナタ》冒頭グラウヴェがどのような響きの世界を描くのか。「不滅の恋人」アントーニエの娘マキシミリアーネに献呈した抒情溢れるロマン主義ソナタ第30番をブロードウッド・ピアノにいかにかき合わせるのか。そして、《月光ソナタ》。仲道の想像力と創造力の閃きに期待したい。

文：平野昭(音楽評論)

2020年1月10日(金) 19:00開演 コンサートホール 詳細はHPへ  
曲目：【フォルテピアノ(シュタイン)】ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」  
ピアノ・ソナタ第14番「月光」より第1楽章  
【フォルテピアノ(ブロードウッド)】ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第30番  
【モダンピアノ(ヤマハCFX)】ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第14番「月光」全楽章  
ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」全楽章  
フォルテピアノ、ピアノ：仲道郁代





東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズ

## フィルハーモニア管弦楽団

# 「サロネン時代」の集大成となる 3つのプログラム

現代屈指の名指揮者サロネンと、  
ロンドンを拠点とするフィルハーモニア管弦楽団。  
長年にわたる名コンビがついに最終シーズンを迎える。

エサ=ペッカ・サロネン  
©benjamin eslovega

### 伝説のはじまりは突然に

フィンランド出身の指揮者エサ=ペッカ・サロネンの伝説は、1983年に始まった。サロネンはティルソン・トーマスの代役としてロンドンのフィルハーモニア管弦楽団の指揮台に立ち、マーラーの交響曲第3番でセンセーショナルな成功を収めた。この伝説の名演は、当時25歳の無名の若者を一夜にして音楽界の寵児へと押し上げる。

世界の主要オーケストラから次々と招かれることになったサロネンだが、彼にとって出発点であるフィルハーモニア管弦楽団は常に特別なオーケストラであり続けた。1985年から94年までは首席客演指揮者を、2008年からは首席指揮者兼アーティスティック・アドバイザーを務めている。指揮者とオーケストラの関係としては、現代では珍しいほど長期にわたって強い絆で結ばれてきた。ともに、伝統にとらわれず、先進的で、チャレンジングな気風を持っていたからでもあるのだろう。

だが、ついにサロネンがフィルハーモニア管弦楽団を去る時が来た。今や61歳となったサロネンは(とてもそんな年齢には見えないが)、今シーズンをもって同楽団を退任し、アメリカのサンフランシスコ交響楽団で音楽監督に就任する(奇しくも代役デビューのきっかけとなったティルソン・トーマスの後を継ぐことになった)。

### 気迫が伝わる濃密なプログラム

サロネンとフィルハーモニア管弦楽団が、2020年1月に披露するのは、いわば彼らにとっての集大成といえるような3つのプログラムだ。オーケストラに高度な演奏能力を要求する曲目が並んでおり、プログラムを見ただけでも

彼らの気迫が伝わってくる。

1月23日のプログラムではストラヴィンスキーのバレエ音楽『春の祭典』が演奏される。このコンビによる同曲は以前の来日公演でも演奏されたが、客席が沸きに沸いて、オーケストラが舞台から退いても拍手が鳴りやまず、サロネンのソロ・カーテンコールが2度もあったのを思い出す。細部にまでアイデアが凝らされた独自の『春の祭典』になるのでは。また、作曲家としてのサロネンにも光が当たる。名手トゥルルス・モルクを独奏に迎え、サロネン作曲のチェロ協奏曲が演奏される。これはヨーヨー・マが2017年に初演した作品だ。

1月28日の公演ではストラヴィンスキーのバレエ音楽『火の鳥』(1910年原典版)と、庄司紗矢香の独奏によるショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲第1番他が演奏される。国際的に活躍する庄司紗矢香への注目度は高い。スターリン時代のソ連で書かれたこの協奏曲は、ショスタコーヴィチが当局からの批判を恐れて、いったんはお蔵入りにしたといういわくつきの作品。当時の体制下ではあまりに危険すぎる作品だったのだろう。庄司は「第1楽章やカデンツァにある凍りつくような恐怖を含んだ静けさは、あの時代を生きずには書かれなかった。カデンツァからフィナーレの狂気はロシア国民の典型的なメンタリティ。ショスタコーヴィチが真の天才であったことを実感させる一瞬も聴き逃せない名曲」と語る。

1月29日のプログラムは、サロネンの近作である『ボルックス』と、マーラーの交響曲第9番の2曲。サロネンの今を伝える前者と、交響曲というジャンルの終着点とも呼ぶべき、別れの曲である後者。「最後はこれしかない」というプログラムだ。万感胸に迫る思いで、マーラーの消えゆくような終結部を聴くことになるはずだ。

文:飯尾洋一(音楽ジャーナリスト)

2020年1月23日(木)・28日(火)・29日(水) 各19:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ

指揮:エサ=ペッカ・サロネン(首席指揮者&アーティスティック・アドバイザー) チェロ:トゥルルス・モルク ヴァイオリン:庄司紗矢香  
管弦楽:フィルハーモニア管弦楽団

2020年1月23日(木)  
曲目:ラヴェル/組曲『クープランの墓』  
サロネン/チェロ協奏曲\*日本初演  
(チェロ:トゥルルス・モルク)  
ストラヴィンスキー/バレエ音楽  
『春の祭典』



2020年1月28日(火)  
曲目:シベリウス/交響詩『大洋の女神』op.73  
ショスタコーヴィチ/ヴァイオリン協奏曲第1番  
イ短調 op.77  
(ヴァイオリン:庄司紗矢香)  
ストラヴィンスキー/バレエ音楽『火の鳥』  
(1910年原典版)



2020年1月29日(水)  
曲目:サロネン/ボルックス  
マーラー/交響曲第9番  
二長調

## 東京芸術劇場シアターオペラvol.13 全国共同制作オペラ ヴェルディ／ 歌劇『ラ・トラヴィアータ』(椿姫) (日本語字幕付原語上演)

指揮:ヘンリック・シェーファー 演出・振付:矢内原美邦 ヴィオレッタ:エヴァ・メイ

### インタビュー 矢内原美邦

## 矢内原美邦が放つ、 見たことがないようなオペラ

名作『椿姫』が国際的なクリエイター集団、ニブロールを主宰する  
振付家、劇作家、演出家の矢内原美邦の手で生まれ変わる! オペラ初演出の鬼才に抱負を聞いた。

### 死から回想する生——それが『椿姫』の魅力

ダンス・演劇を中心に幅広く活躍するがオペラ初演出に喜びを隠さない。  
「ヨーロッパの振付家・演出家の友人たちはオペラを演出しているので自分もやりたかったんです。『ラ・トラヴィアータ』(椿姫)は挑戦する価値があります」

主人公のヴィオレッタは19世紀のパリに生きた高級娼婦で、青年貴族アルフレードとの恋に落ちるが破局し病をわずらって死んでしまう。

「ヴェルディのオペラから生と死が交差し繋がる感覚を覚えました。ヴィオレッタが人生を回想するように描きます」

戯曲や小説を読み返すうちにヴィオレッタの心情にあらためて共感し、旧来の視点とは異なるように演出する。

「凄く弱い立場のヴィオレッタが愛を知り、迷いながらも生きて夢をつかんでいく——。前向きに生きる強い女性として描き、男性からも女性からも『このように生きたい』と思ってもらいたい」

### 空間を自由に動かし、今を生きる人々に訴えたい

舞台設定を現代に置き換え「世界のどこでもあって、今を生きる人々が登場する」という。その世界観を衣裳(田中洋介)、映像(高橋啓祐)、美術(松生紘子)と共に創り上げる。

「美術は空間を仕切って自由に動かせるようにして、スクリーンにはニブロールの高橋くんの映像を投影したい。衣裳は人物によって色分けし、要らないものをたくさんつけている人ほど社会に縛られていることを表すようにします」

もちろん音楽に心を配る。

「音楽はマエストロ(指揮のヘンリック・シェーファー)にお任せしますが、歌をどの



ように歌うのかは重要です。力強く歌うのか、悲しげに歌うのか、なにか遠いことを思っているのか…。ヴィオレッタを強い女性として描くアプローチをしていきたい」

### 多様なアイデアを集めて創る新しいオペラ

オペラ演出は肌に合うようで意欲満々なのが頼もしい。

「動きに情報量を入れたいので複雑になりがちですが、ヴィオレッタ役のエヴァ・メイさんは世界的な歌手なのに何にでも積極的に取り組んでくださる方だと思っていますし、日本の歌手の方々も積極的に挑んでくれると思うので、皆さんにも納得してもらえる演出にしたいですね」

オーディションで選ばれた5人の俳優・ダンサーも出演し、またコーラスにも振付する。「5人にはコーラスを引っ張ってもらいます。コーラスは群衆ですが、この作品ではとても重要なので、ただ立っては歌わせません」

会場ごとに空間はもとよりオーケストラやコーラスが変わり、その違いを楽しめる。「白河文化会館コミネス、金沢歌劇座と東京芸術劇場ではコーラスの人数も変わります。演出が微妙に変わるので、その場所できり起こり得ない何かが生まれるかもしれません」

稽古、本番に向けて志気は高まるばかりだ。「見たことがないようなオペラにしたい。アーティストたちから出てくるアイデアを拾い集め、新しい考えを取り入れて演出していきます」

新解釈と自在な発想による画期的な『椿姫』の誕生にぜひとも立ち会いたい。

文:高橋森彦(舞踊評論家)

2020年2月22日(土) 14:00開演 コンサートホール 詳細はHPへ  
指揮:ヘンリック・シェーファー 演出・振付:矢内原美邦  
管弦楽:読売日本交響楽団 合唱:新国立劇場合唱団 ヴィオレッタ:エヴァ・メイ ほか  
白河、金沢公演あり

### 第10回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2019

11月23日(土・祝)・12月1日(日) 15:00開演 ミューザ川崎シンフォニーホール  
11月30日(土) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP16へ

首都圏の音楽大学生たちが東京芸術劇場コンサートホールとミューザ川崎シンフォニーホールに集う「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」。今年には上野学園大学&国立音楽大学(11月23日)、昭和音楽大学&東邦音楽大学&桐朋学園大学(11月30日)、東京音楽大学&武蔵野音楽大学&洗足学園音楽大学(12月1日)の組み合わせで、3日間にわたり開催します。



# 東京芸術祭2019

インタビュー

東京芸術祭2019  
総合ディレクター 宮城聡



## 世界の人 「こんな表現もあるのか」と 発見する作品を送り出す ゲートウェイの演劇祭を目指して

東京芸術祭2019が間もなく開幕する。

「東京芸術祭」とは？また“東京”で“芸術祭”を開催する理由は何なのか？  
総合ディレクターを務める宮城聡に話を聞いた。

——最初に「東京芸術祭」の全体像をお聞かせ願えますか？というのも、東京オリンピックとの連動でアートも対象にしている「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の一環として実施されているということ、先行して開催されてきた舞台パフォーマンスの祭典「フェスティバル/トーキョー(F/T)」、さらに東京芸術劇場のプログラム「芸術オータムセレクション」などを包括しているのが「東京芸術祭」という関係性が、まだ広く伝わっていないと思うので。

宮城 確かにわかりにくいですね(笑)。それは、既存事業を整理しなかったことがひとつの原因だと思います。

——あえて整理しなかったということでしょうか？

宮城 はい。ひとつの選択肢として、スクラップ＆ビルドは当然ありました。でも「東京芸術祭」の総合ディレクター就任を依頼された時、どんなフェスティバルにするのか決めるため、ひとつひとつの関連事業の関係者の方達にお会いしたんです。今お話に出たものに加え、豊島区の事業やあうるすぽっとの事業、「APAF(アジア舞台芸術祭)」などですね。そして直接お話を聞いて、どれもそれなりの蓄積が——事業自体もそうですが、マンパワーとして経験値の蓄積があることがわかりました。これは非常に大切な財産です。もし「東京芸術祭」を、新しいコンセプトを立て、キャラクターのはっきりしたフェスティバルとしてスタートさせたら、一瞬は注目されるかもしれませんが、でもそのために人的経験値を無くしたり途切れさせてしまったら、損失のほうが大きい。東京の舞台芸術界がこの先より良くなっていくために何が大事かを考えると、人を育て、また育った人をそのまま伸ばしていくほうがだろうと判断しました。

——物事を長い目で考えず、目先の効果で判断するのは、近年の日本の主流かもしれませんが、でもひとつの場所で蓄積されたノウハウや知識、人脈などは、一旦途切れると、簡単には取り返せませんね。

宮城 性格のはっきりしないという批判は去年もあり、もちろん甘んじて受けませんが、数年経って「これだけ多面体なフェスティバルって、むしろ東京らしいよね」と思ってもらえるんじゃないかと期待していますし、東京の演劇界

を担う人材が輩出されていけば「これで良かった」と言ってもらえるんじゃないかと思っています。

総合ディレクターとしての僕は、それらの既存事業を「東京芸術祭」という風呂敷に包んで結び、その結び目としてシンボリックな事業というのかな、去年始めたワンコインで野外公演を観てもらうプログラムなどを手掛けようと考えています。

——今、芸術祭はアジア各地で増加する傾向にあり、日本よりも多くの予算が投入され、世界の注目を集めているものも少なくありません。そんな中で「東京芸術祭」をどう位置づけ、発展させようとお考えですか？

宮城 アジア地域のおもしろいことを考えているアーティストが、どの窓から世界に飛び出していくのが良いか——。それには東京が1番上手く機能すると僕は考えています。外から来てもらうのが得意な芸術祭と、外に吐き出していくのが目的の芸術祭があって、国内ですけど瀬戸内国際芸術祭は前者でしょう。後者の立場として、東京が世界へのルートが開ける可能性を示したいし、その役割を果たし得るし、ある意味、東京がやらないとダメだろうと思う。というのも、残念ながら巨額の国家予算が投入されたアジアの芸術祭は、グローバルな商業主義に合致するものを生み出そうとしているように僕には見えるし、それは芸術の単一化につながると考えるからです。「こんな表現もあるのか」と世界の人が発見するようなゲートウェイにはならないから。まだ東京のほうがそういう場所になる可能性があると思います。

——日本には多様性の可能性が残っている？

宮城 欧米の芸術の世界で常に求められているのは強度です。どういう方向性にしろ、強度が無ければ一流ではない、プロの作品ではない。でもアジアには、儂い身体とか、あるいは揺らぎがある状態が尊重されてきたし、弱いものを愛でるという長い伝統があります。それが近代化の中で、芸術の物差しが欧米のものだけになり、弱いものを愛でる価値を尊んだ感性がどんどん消えてしまった。でも日本はそれが、オタクという言葉が上手く表しているように家の中、つまり表では欧米の価値観に合わせながら、部屋の中

で愛でるということが続いていたんですね。おそらく欧米にもそういう人達はいて、JAPAN EXPOに大勢の人が来るようなことが起こったんだと思う。ただ、この10年ぐらいで日本も価値観の多様性がかなり失われてしまったと感じています。社会全体が非常に画一的に、短絡的な答えを求めるようになってしまった。だからこそ「東京芸術祭」でそれを取り戻していけたらと思うんです。

——今年から始まる「東京芸術祭ワールドコンペティション」は、東京ならではの特性を活かしながら世界へのゲートウェイにつながっていますか？

宮城 その通りです。ここで作品を発表すれば世界へつながる、「東京芸術祭」があるいは東京という街がそうなればいいなと考えた時、1番理想的なのは世界中のディレクターやキュレーターが秋に東京に来てくれることなんです。10月から11月は世界中が舞台芸術のハイシーズンで、なかなかそうは行かない。「ビジネスクラス往復、パートナーと一緒に来ていいですよ」と言える予算もないですし(笑)。だとしたら、先ほどお話しした“結び目”の一つとしてコンペティションを開催して、その審査員として一流の演出家やディレクターを招けば、審査作品はもちろん、合間に何本か観てもらえる。その中から「これはおもしろかった。うちの劇場で呼ぼう」ということが起こっていけばいいなと考えたわけですね(笑)。

——なるほど！ただの競争ではないんですね。では芸術で上演される、ロシアのカンパニーによる全編手話の『三人姉妹』と、オスターマイアー演出の『暴力の歴史』について、世界の演劇にお詳しい宮城さんから解説をいただけますか？

宮城 少し通好みの発言になってしまうかもしれませんが、オスターマイアーさんは最初、センセーショナルな演出をする人として世に出てきたんです。例えば、サラ・ケインの芝居で露骨な性的表現を見せたことが演劇界で話題になりました。つまり、表現主義を忠実に継承してそれをやり切っているという、表現主義の申し子みたいな人だったわけですね。それがこの数年は、オーソドックスなリアリズムの演出家として高い評価を得るようになってきた。それは付け焼き刃ではなく、リアリズムの歴史で見ても正統なんです。つまり彼は、ソ連・東ドイツ経由のリアリズムと、ドイツの表現主義との両方の資質を持った、世界の演劇史の中で王道中の王道と言える演出家。作品によってどちらかに重心が傾くので、例えば、去年、SPACで上演した『民衆の敵』はリアリズムが目立っていましたが、『暴力の歴史』は表現主義的な方が目立つかもしれません。

『三人姉妹』は、ノヴォシヴィルスク劇場のですね。これは、手話と言えば手話なんです。音の無い世界を描いているのではない僕は思います。記号として意味を持つ言葉は聞こえてこないけれども、こんな音(グラスを



はじく)やこういう音(テーブルを叩く)は存在する。つまり、僕らの日常は本来そうした音に満ちているのに、意味を持った音＝言葉が耳に入ってくるから、そちらにばかり気を取られてしまう。言葉のボリュームをゼロにしてみると、他の雄弁な音が聞こえてきて、それらもドラマを奏でている。だから、手話というのが何かの欠落ではなく、ひとつの要素を封じたことによって、それまで気が付かなかった豊かさを舞台上に立ち昇らせるという作戦ですね。

——どちらの作品も今のお話で期待が倍増しました。もちろん、「東京芸術祭」全体についても、さまざまな動きに注目していきたいです。

さらに、東京芸術祭2019と連携している「東アジア文化都市2019豊島」でのイベントとして、西口公園に完成する野外劇場(グローバルリング)のこけら落としで、フランスを始め国内外でオファーが続く宮城さん演出の『マハーバーラタ ～ナラ王の冒険～』が上演されます。

宮城 グローバルリングが、たまたまSPAC(静岡県舞台芸術センター。宮城が芸術総監督)がアヴィニヨン演劇祭で『マハーバーラタ ～ナラ王の冒険～』を上演した時のリング状の装置とほとんど同じサイズなので、新劇場のお披露目にぴったりかなと。1日2ステージのみですが、ぜひご覧いただければ。

——本日はありがとうございました。

取材・文：徳永京子

## 東京芸術祭2019

9月21日(土)～11月23日(土・祝)  
東京芸術劇場、  
あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)ほか

【プログラム詳細】東京芸術祭2019公式サイト  
<https://tokyo-festival.jp>

【チケット予約】東京芸術祭チケットセンター  
<https://tokyo-festival.jp/2019/ticket/>

### 宮城聡 SATOSHI MIYAGI

演出家。SPAC＝静岡県舞台芸術センター芸術総監督。2017年、アジアでは初めてフランス・アヴィニヨン演劇祭のオープニング作品に選ばれ「アンティゴネ」上演。2018年、第68回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2019年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。



©Ryota Atarashi



NODA・MAP 第23回公演

## 『Q』: A Night At The Kabuki

Inspired by A Night At The Opera

作・演出:野田秀樹 音楽:QUEEN

インタビュー 上川隆也

## 自らの“感嘆”を何倍にもして観客に届けたい!

NODA・MAPの新作『Q』: A Night At The Kabuki。

本作品で野田作品に初出演する上川隆也に、その魅力や現在の心境を聞いた。

“アルバム『オペラ座の夜』を日本で演劇化したい”というクイーン・サイドからのオファーと、野田秀樹が以前から温めていた“『ロミオとジュリエット』の後日譚を書いてみたい”というアイデア。この2つが結実して生まれたのが、上川にとって初の野田作品となる『Q』だ。稽古は8月末にスタートした。

上川 「いつの日か参加できたらと思っていたNODA・MAP。毎日が新鮮で、新人になった気分です(笑)。野田さんの作品は劇団夢の遊眠社の頃から拝見していましたし、僕自身も劇団(演劇集団キャラメルボックス)出身で、舞台はそれなりにやってきたつもりですが、野田さんのような舞台作りの現場は未体験の領域。なるほど、こういう風にして形作っていくのかという驚きが随所にあって、楽しくて仕方ないです」

そう語る上川が演じるのは、“それからのロミオ”。12世紀末の日本を舞台に、もしもロミオとジュリエットが死んでいなかったら…?という物語が、散りばめられた原作の名台詞とともに繰り広げられる。しかもそれは、さらにもう一つのモチーフへと繋がっていく。

上川 「最初に台本を読んだ時の感嘆はトンデモないものでした。全くイメー

ジが違う2つのモチーフが見事に繋がって、5日間の命懸けの恋がまた違った物語へと綴られていく。そのことがたまたま刺激的で、驚きを隠せませんでした。やはり野田さんは、言葉の紐付け、関連付けの天才だと。さっさとご覧になる方も、同様の驚きと、理屈抜きで魂が震えるような観後感に見舞われるのではないかと思います」

一方で、脚本を読んだだけでは、うまくイメージできなかった部分もあったという。

上川 「野田さんの途方もないイマジネーションから紡ぎ出された文章表現や情景描写に、僕のような凡人の頭が追いつけないといいますが、たとえば、台本の中では当たり前のことのように、ト書き1行で情景が変わっていったりしますが、その1行をどう具現化するのか、想像がつかないところがあるんです。稽古場で、それが実際に形になっていくのを見ると、ああ、野田さんはこういうことを考えていらしたかと、思わず溜息がこぼれます。作品を立ち上げていく過程をつぶさに目の当たりにできて、今とても得をしている気分です。この贅沢な時間にどっぷりと浸かって、稀有な体験を楽しみたいと思います」

ちなみに“それからのジュリエット”を演じるのは松たか子、若かりし頃のジュリエットとロミオを演じるのは、広瀬すずと志尊淳だ。

上川 「松さんは懐の深い方。僕があれこれ試しても、それを全て受け止めてその場に即したことをしてくださるので、やはりすごい方だと感じています。二人の距離が隔たっている時の佇まいがまた素敵で、そこは演じながらとても影響を受ける部分です。志尊くんといかに表裏になれるかも鍵かなと思っています。ほぼ30歳違う彼とのギャップを利用して楽しみたい、志尊くんの持っている瑞々しさを、形はどうであれ僕自身も吸収しながらやっていけたら」

奇しくも上川は今年、演劇集団キャラメルボックスに入団して俳優を始めて30年。稽古場で生き生きと動き、「初心に帰ったような気がする」と話その充実した面持ちを見ると、まさに機が熟し、このタイミングで出合うべくして本作品と出合ったとしか思えない。

上川 「僕自身、今回の役柄や、野田さんがこの作品で描きたいとおっしゃっていたことに、強くシンパシーを感じています。皆で形を整えていって、僕が台本を最初に読んだ時に感じた感嘆を何倍にもして客席の皆様にお届けしたいと思います」

取材・文：岡崎香(演劇ライター)  
写真：渡部孝弘

10月8日(火)～15日(火)／ 詳細はP13・16・17へ

11月9日(土)～12月11日(水)

プレイハウス

作・演出:野田秀樹 音楽:QUEEN

出演:松たか子 上川隆也 広瀬すず 志尊淳

橋本さとし 小松和重 伊勢佳世 羽野晶紀 野田秀樹 竹中直人

大阪、北九州 公演あり



東京芸術祭2019

## フェスティバル/トーキョー19

## 異なる文化、歴史、 時間を生きる、多様な 人々に出会う37日間

「東京」を舞台に、都市の中での舞台芸術の可能性を  
追求するフェスティバル/トーキョー(F/T)。

12回目となる今年は「からだの速度で」をテーマに、  
舞台作品からアートプロジェクトまで、  
多彩なプログラムを展開する。

ポーランドの若手演出家と探求する「ユートピア」

2009年春の初開催からフェスティバル/トーキョーのメイン会場のひとつとなってきた東京芸術劇場では、3つの趣の異なる作品が上演される。シアターイーストを会場とする『オールウェイズ・カミングホーム』は、『ゲド戦記』でも知られるアーシュラ・K・ル=グウィンが同名小説で描いた人類の末裔の文化と生活を、映像、音、美術、ダンスなど、さまざまなメディアを用いて立体化するもの。科学技術と距離をおき、自然との絆を保つ未来の人々の生きざまを、ポーランドの若手演出家マグダ・シュペフトと俳優たち、ドラマトゥルク、ダンサー、映像作家、美術家、作曲家、振付家など、多彩な顔ぶれて構成されたチームはどう捉え、具現化して



『オールウェイズ・カミングホーム』  
“Always Coming Home” by Ursula K. Le Guin  
Used by permission of Curtis Brown, Ltd.  
Copyright © 1985  
All Rights reserved.

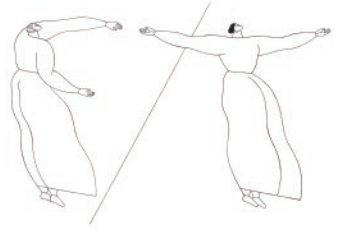
みせるのか。日本とポーランド、  
両国でのリサーチを重ねて立ち上げられる風景に是非立ち会ってみたい。

人と都市から始まる舞台芸術祭  
フェスティバル/トーキョー19  
10月5日(土)～11月10日(日)  
東京芸術劇場、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、  
シアターグリーン、トランパル大塚、豊島区内商店街 ほか

■10月5日(土)・6日(日) オープニング・プログラム『移動祝祭商店街』  
豊島区内商店街(池袋本町エリア、大塚エリア、南長崎エリア)、トランパル大塚  
パフォーマンスデザイン:セノ派(舞台美術家コレクティブ)  
参加無料・予約不要

■10月18日(金)～20日(日) 香料SPICE『新丛林 ニュー・ジャングル』  
シアターウエスト  
コンセプト・演出・出演:香料SPICE

【チケット取扱い】F/Tチケットセンター TEL:03-5961-5209 <https://www.festival-tokyo.jp/19/ticket.html>  
東京芸術劇場ボックスオフィス TEL:0570-010-296 <http://www.geigeki.jp/t/>  
【お問合せ】フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 TEL:03-5961-5202 <https://www.festival-tokyo.jp>



FESTIVAL / TOKYO

中国、ラオスの最新舞台で、異なるアジアを知る

中国・杭州を拠点に活躍する香料SPICEは、東洋の感性と西洋文化を融合させた音楽性、哲学的な歌詞で注目を集めるサイケデリック・エレクトリックグループ。これまでもインスタレーションやパフォーマンス作品を発表してきた彼らが、シアターウエストで世界初演するのは、自作のSF漫画『New Jungle』の舞台版だ。音と映像、パフォーマンスが織りなす新感覚のステージは、現代中国カルチャーの先端を垣間見せる、刺激的なものとなりそうだ。

また、国や分野の境界が融解するアジアの文化状況に着目するシリーズ「トランスフィールド from アジア」では、ラオスのファンラオ・ダンスカンパニーが、同国南部の文化を伝える男性デュエット『Bamboo Talk(バンブー・トーク)』、現代ラオス女性のリアルをテーマとした『PhuYing(フニン)』の2作品を上演する。伝統舞踊とヒップホップのテクニクを共存させる彼らの作品は、ラオスのコンテンポラリー・ダンスを牽引するもの。急速な経済成長と近代化の渦中にある人々の、ありのままの感性がそこには表れるだろう。

情報化、効率化が進む現代社会。だが、人が感じ、考え、行動するスピードは一樣ではない。豊島区内の商店街の歴史と現在、未来を表現する「山車」によるパフォーマンス『移動祝祭商店街』、インドネシア・ジョグジャカルタの屋台型商店を東京に持ち込む北澤潤『NOWHERE OASIS』など、ここに紹介した劇場作品に限らず、F/T19には、異なる文化や歴史、環境の中で、それぞれの時間を生きる者同士が出会う場がいくつも仕掛けられている。その出会いはきっと、私たちの暮らし、生のあり方に、一時立ち止まり、向き合うきっかけをもたらすだろう。



トランスフィールド from アジア ファンラオ・ダンスカンパニー『Bamboo Talk』

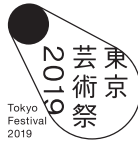


香料SPICE『新丛林 ニュー・ジャングル』

■10月25日(金)～27日(日) 詳細はP13・14・15へ  
トランスフィールド from アジア  
ファンラオ・ダンスカンパニー『Bamboo Talk』『PhuYing』  
シアターイースト  
振付:ウンラー・パーウドム、ヌーナファ・ソイダラ

■11月8日(金)～10日(日)『オールウェイズ・カミングホーム』  
シアターイースト  
原案:アーシュラ・K・ル=グウィン 演出:マグダ・シュペフト  
■10月下旬～11月中旬『NOWHERE OASIS』  
劇場前広場ほか池袋駅周辺  
参加無料・予約不要

ほか、多数ラインナップ







## 東京芸術祭ワールド コンペティション2019

# 2030年代のトップ アーティストたちが 世界から芸劇に集結！

### ワールドコンペティションディレクター 横山義志からのメッセージ

### つくり手と観客が共に舞台芸術の新たな価値を 創出する場に、ぜひご参加ください！

東京芸術劇場にはいつも世界から一流の舞台が集まっていますが、“一流”ってなんだろう、って思ったことはないでしょうか？誰が、どんな基準でそれを決めているのでしょうか？

### “世界基準”が変わっていく瞬間に立ち合う

ここ150年程、日本の舞台芸術は“一流”の基準を主にヨーロッパに求めてきました。そんな状況も、世界のパワーバランスが大きく変動している「アジアの時代」には、大きく変わっていくことでしょう。でも、経済や政治といった“パワー”が芸術の価値観を決めていくというのもちょっと残念な気がします。それなら私たち自身で次の時代の“世界基準”をつくっていけないか、というのが、「東京芸術祭ワールドコンペティション」を構想したときに考えていたことでした。

「私たち」といってもこんな時代なので、もちろん日本にいる人だけで次の時代の価値観をつくれるわけではありません。「東京芸術祭ワールドコンペティション」では、2030年代に活躍するであろうアーティストたちが、アジア、オセアニア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ、そして日本から東京芸術劇場に集結し、作品を発表します。アーティストを選んだのは、フランスのアヴィニョン演劇祭をはじめ、各地域で国際的なフェスティバルのプログラムを組んできたプロデューサーたちです。今

まさに世界の舞台芸術界の価値観をつくっている方々、といってもいいでしょう。

このプロデューサーたち、つまり推薦人の方々には、各地域の状況を踏まえ、作品を紹介していただきます。アジアからはヴィジュアルアーティストによる幻想的な影絵芝居、オセアニアからは悲痛な経験を語る言葉のないオペラ、ヨーロッパからは皮肉と深い思索を込めて現代ヨーロッパを俯瞰するパフォーマンス、アフリカからは動物の仮面を使ったフィジカルシアター、アメリカからはブラックユーモアたっぷりの会話劇、そして日本からは大阪弁による不思議な「悲劇」と、バリエーションに富んだ舞台が選ばれました。

### 「アーティスト審査員」と「批評家審査員」

作品の審査には、三種類の審査員があたります。まず、各地域で舞台芸術の価値観を更新してきたアーティストたちに「アーティスト審査員」として参加してもらいます。審査員長はフランス・ナンシー国際演劇祭の創始者として寺山修司や鈴木忠志を欧州に紹介し、文化大臣としてフランスの舞台芸術を躍進させたジャック・ラングさん。副審査員長にはジャンルを越えた舞台作品を発表しつづける夏木マリさんをお迎えし、アジアからは平昌オリンピックの芸術監督も務めたヤン・ジョンウンさん、ヨーロッパからは東京芸術祭で『暴力の歴史』を発表するトーマス・オスターマイアーさんにご参加いただきます。

また、歌舞伎研究のビュールク トーヴェさんなど、各地域出身で舞台芸術に造詣が深く、日本語を話す方々に「批評家審査員」として日本語で議論していただきます。

### あなたの視線が、次世代の価値観をつくっていく

そして観客のみなさんには、作品をご覧になって、「観客賞」を選出していただきます。みなさんの投票、そしてみなさんの視線や拍手や終演後のおしゃべりが、これからの世界の価値観をかたちづくっていきます。

アーティスト、推薦人、審査員と、夢のようなメンバーがそろって、私も今からそわそわしています。この秋、東京芸術劇場で、次世代の価値観と一緒に夢見てみませんか？

10月29日(火)～11月4日(月・休) 詳細はP14・15へ  
プレイハウス、シアターイースト、シアターウエスト ほか  
参加(上演)作品：全6作品(アジア、オセアニア、ヨーロッパ、  
アフリカ、アメリカ、日本)

10月29日(火)：推薦人プレゼンテーション 10月30日(水)・31日(木)：推薦人トーク  
11月4日(月・休)：審査会、授賞式あり(入場無料・予約不要・先着順)

東京芸術祭ワールドコンペティション2019特設サイト  
<https://tokyo-festival.jp/2019/world-competition>



いんせばらぶる  
inseparable  
「変半身(かわりみ)」  
原案：村田沙耶香 松井周 作・演出：松井周

## 孤高のクリエイターが 分かちがたく 混じり合う試み

唯一無二とも孤高とも評される作風のふたりが、意気投合し、同じ原案をもとに舞台と小説を発表する。  
ジャンルをまたぐ今年屈指の注目作の第一報をお届けする。

オリジナリティが評価の大部分を占めるクリエイターにとって、誰かと似ていると言われること、とりわけそれが同時代の誰かというのは、普通、好ましくないと思われる。ところが喜々としてそれを受け入れる組み合わせがある。

11年に『自慢の息子』で岸田國士戯曲賞を受賞し、安楽死や成長促進剤など近未来的な題材と、日本の土着的な風土を混ぜ込み、最終的には人間のおかしみを浮かび上がらせる松井周。16年に『コンビニ人間』で芥川龍之介賞を受賞し、明るく穏やかな筆致でいつの間にか普通と異常の主客を逆転させてしまう小説家、村田沙耶香。

どちらも強烈な個性を放つ作風で知られるが、出会ってすぐにお互いが趣味嗜好と思考回路の類似性を認め合い、inseparable(インセパラブル)というプロジェクトまでスタートさせた。Inseparableとは、切っても切れない、分かち難い、という意味で、ひとつの原案をもとに『変半身(かわりみ)』というタイトルの、村田は小説、松井は舞台を発表する。

この原案は、17年から取材旅行や宿泊、試演会と、多忙なふたりが丁寧に共同作業を重ねてつくられたもの。ある架空の島について、歴史や地形、伝統行事や風習、気候や生態系などを一緒に考えていき、その島の物語をそれぞれが自分のフィールドで作品にする。島のどの時代、どの地域を切り取り、どんな人物や動物を登場させるかは自由だが、相手が考えた、あるいは共同作業の過程でどちらが考えたかわからなくなった固有名詞などが登場するというのが興味深い。イメージとしては、松井と村田の思考が溶け合っってひとつのクラウドにまとめられ、ひとりひとりがそこから必要なものをダウンロードし、自分だけのインターフェイスを通してアウトプットすると考えれば良いだろう。近年、作家同士、また、作家とミュージシャンなどの共作が増えており、その形はさまざまだが、ここまで自分を相手に預けるの



村田沙耶香

松井周



は、厳密な意味でも共作と言って差し支えないし、何が出てくるのか想像がつかないという意味でかなりの意欲作と言える。

村田の小説『変半身』は11月下旬に発刊予定、ほぼ同時期の11月29日から12月11日にシアターイーストで上演される松井作・演出の舞台『変半身(かわりみ)』は、キャストもまた、興味深い。松井作品は何度も経験済みの金子岳憲、日高啓介、能島瑞穂。昨年、舞台『レインマン』で松井の厚い信頼を得た宝塚出身の安蘭けい。余談だが松井は宝塚の大ファンで、東京の宝塚劇場でアルバイトをしていた経験もあるほど。初参加組は、唐組所属で近年さまざまな舞台で活躍する大鶴美仁音。ドラマ『ワンダーウォール』で注目され、岩松了作・演出の舞台『空ばかり見ていた』に出演していた三村和敬。そして台湾から来日する王宏元。

内容について松井は「舞台は小説と違い、ホントの人間の肉体と舞台空間を使ってウソを語っていかなくてはなりません。でもよく考えると、人間は前の時代につくられた慣習を信じたり、疑ったり、別のルールに乗り換えたり、自分たちで新しい常識をこしらえたりして日常を生きています。言い換えると、常にフィクションに所属し、いくつものフィクションに侵食されて生きています。ということは、ウソをまとった人間がそこに存在していればそれでいい。ウソとホントの間に生きているグレーな人間を淡々と描いていくつもりです」と語るがこれには、自分にとって白か黒だけで事実を判断してしまうオルタナティブ・ファクトが蔓延する現在の風潮に、一石を投げたい思いがあるという。

「もともと人間には、どんな意見に対しても自分なりのウソとホントがモザイク状になった“遊び”の部分があるはずなのに、今はそれが無いがしろにされている。そんな凝り固まった空気に穴を開けたいというのが僕の狙いです」

共作はもちろん競作でもある。舞台と小説のどちらかではなく、ぜひとも両方を体験し、Inseparableな企てを見届けたい。

文：徳永京子

11月29日(金)～12月11日(水) 詳細はP16・17へ  
シアターイースト

原案：村田沙耶香 松井周  
作・演出：松井周

出演：金子岳憲 三村和敬 大鶴美仁音 日高啓介 能島瑞穂 王宏元 / 安蘭けい

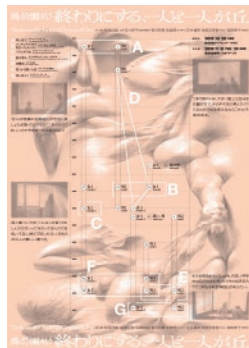
三重、京都、神戸公演あり



## eyes plus 鳥公園 #15「終わりにする、一人と一人が丘」

11月21日(木)～24日(日) シアターイースト

詳細はP16へ



## 新体制へ進む前の、鳥公園のアタマの中とは？

主宰と劇作家と演出を西尾佳織が兼任していたこれまでの体制から、今後3年、作品によって3人の演出家が西尾の戯曲を手掛けるという新たな劇団の形をスタートさせることを発表した鳥公園。現行の演劇のあり方を根本から問う大きくて柔らかな問いが、過去2回、アトリエイーストで展開された『鳥公園のアタマの中』展とつながっているのはうれしい。今作は、西尾が主宰・作・演出の3役を兼ねるとりあえず最後の作品となる。純度100%の西尾のアタマの中、のぞいておきたい。

文：徳永京子

作・演出：西尾佳織(鳥公園)

出演：石川修平(劇団俳優座) 菊沢将憲 鳥島明(はえぎわ) 花井瑠奈 布施安寿香(SPAC) 和田華子(青年団)

【お問合せ】鳥公園(syuz'gen) 03-4213-4290

## eyes plus ワワフラミンゴ 12月のワワフラミンゴ「くも行き」

12月18日(水)～22日(日) シアターイースト

詳細はP18へ



## バカバカしいのに油断ならない独自の世界

タヌキと人間が当然のように対等に会話する人食ったストーリーや、まったく予測できないテンポ、次第に浮かんでくる「ここには深い哲学が隠されているのではないか」という疑念で、中毒者を増やし続けているワワフラミンゴ。ギャラリーやカフェなどで公演を重ねてきた彼女たちが、13年の「芸劇eyes番外編『God save the Queen』」以来、久々にシアターイーストで公演を行う。久々に出演する俳優も多く、ビギナーもすでに夢中の人も、ワワフラの世界をぜひ劇場で体験してほしい。

文：徳永京子

作・演出：鳥山フキ 出演：北村恵 生実慧 佐伯さち子 椎橋綾那 多賀麻美 柳沢茂樹 森すみれ

【お問合せ】ワワフラミンゴ wawaflamingo@gmail.com

## 芸劇dance 田中泯ダンス 踊りに惚れちゃって!「形の冒険Ⅱームカムカ版」

2020年1月10日(金)～16日(木)※13日(月・祝)休演 シアターイースト

詳細はHPへ



## 外から見えなくても、僕はオドリの中にいる。

2018年に12年ぶりに劇場公演を再開し、その強烈な存在感で劇場空間をオドリの宇宙に変えた田中泯。「映画やドラマに出演していても、僕はオドッテイルのです」と語るダンサー田中泯は、常に身体表現の最前線を切り拓く存在として、ジャンルを越えて注目を集めてきた。'20年初頭を飾るソロダンスは、カラダとオドリをより深く鋭く追究し、装置や音響などにも新たな企みを加えて「地球と一緒に生きるカラダ、必死にカラダになろうとするオドリ」を観客に突きつけることになるだろう!

出演：田中泯

## COMING UP NEXT 2020.1-3

演劇・ダンス ラインナップ

1月25日(土)～2月5日(水)  
シアターイースト  
「エブリ・ブリリアント・シング」

2月7日(金)～12日(水)  
シアターイースト  
「星の王子さま」

2月7日(金)～16日(日)  
シアターウエスト  
eyes plus てがみ座「燦々」

2月15日(土)～23日(日) シアターイースト  
eyes plus 鳥丸ストロークロック「まほろばの景2020」

3月2日(月)～15日(日) シアターイースト  
「カノン」作：野田秀樹 演出：野上絹代

3月6日(金)～8日(日) プレイハウス  
勅使川原三郎×佐東利穂子×庄司紗矢香 (ヴァイオリン)

3月28日(土)・29日(日) シアターイースト  
二兎社ドラマリーディングvol.2

※日程等には変更が出る場合があります。



## 「東京芸術劇場のトリセツ」レポート



## 知的好奇心を刺激する新感覚の劇場ツアー

「トリセツ」=取扱説明書。東京芸術劇場という施設の正しい使い方を知れば

もっと身近に、もっと快適に芸劇と付き合っていけるはず。

## 芸劇とはどんな劇場なのかを知るチャンス

2019年7月7日、東京芸術劇場は「東京芸術劇場のトリセツ」と銘打つ劇場ツアーを開始した。同行するガイドからさまざまなうんちく、エピソードやスタッフしか知り得ない裏話などを聞きながら劇場内を巡り、ときにはゲストスピーカーなども登場して専門的な解説も聞くことができる、貴重なツアー内容となっている。

実はこのツアーは人材育成プログラムの一環である「シアター・コーディネーター養成講座<劇場ツアー編>」で、劇場という空間や歴史、特色について学んだ受講生が企画したもの。この講座で監修と講師を務める多和田真太良さんはその意図について次のように語る。

「劇場ツアー自体は、ヨーロッパでは観光スポットのひとつとなっていることもあり、メジャーなものです。『東京芸術劇場のトリセツ』では、ただ劇場の内部を見てもらうだけではなく、『トリセツ』というキーワードを使って



『こんな風に使ってもらえると劇場は喜びますよ』ということ、普段は劇場とは縁遠い人から演劇やコンサートなどでよく芸劇に訪れている人まで、みなさんに楽しんでもらえるようなツアーになることを目指して、内容も都度ブラッシュアップし続けています」

## 開演直前のコンサートホールを見学できる

このツアーの目玉はコンサート開演直前のホールの様子を見学できること。ステージ上はほぼ公演と同じセッティングができあがっており、この光景を見られること自体が普通ではあり得ないこと。ときにはこのツアー中に奏者が音合わせなどを行っていることもあり、ホール内を移動しながら

席によってステージの見え方や音の聴こえ方が違うことも実際に体験できるかもしれない。

これとは別に、劇場が開いている時間であれば誰でも立ち寄れる場所であることや、貴重な美術品を見られること、休憩スポットとして使える場所もあることなども聞けるので、ツアー参加者はより身近に、東京芸術劇場という存在を感じることができるようになるだろう。



## 実は密かな人気企画。チケットはお早めに!

この「東京芸術劇場のトリセツ」、毎回の定員が20名に限られることもあり、大変チケットの取りにくい人気企画となっている。これまでの参加者は10代から60歳を超える人までさまざま。ひとりでもグループでも気軽に参加できる。実際のコンサートにも興味のある人は、ツアー直後に行われるコンサートは何か? というところにも注目して参加日を決めるのも一興かもしれない。普段とは違う劇場との関わり方を、ぜひ積極的に楽しんでほしい。

## 劇場ツアー 東京芸術劇場のトリセツ《コンサートホール編》

9月22日(日) 10:00～11:15  
10月20日(日) 10:00～11:15  
11月22日(金) 16:00～17:15  
11月24日(日) 10:00～11:15  
12月22日(日) 10:00～11:15

【料金】各回500円(保険代込み) 【定員】各回20名

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296





10 OCT ▶

1火2水3木4金5土6日7月8火9水10木11金12土13日14月祝15火16水17木18金19土20日21月22火祝23水24木25金26土27日28月29火30水31木

東京芸術劇場  
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く  
10:00～19:00

東京芸術劇場  
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・7日(月)・21日(月)

全館手荷物検査実施日:5日(土)・6日(日)・19日(土)・20日(日)

Concert Hall

2日(水) 14:00開演

BOX

東京都交響楽団 第887回定期演奏会

出演 フィリップ・フォン・シュタイネッカー(Cond)／  
エドガー・モロ(Vc)／東京都交響楽団  
曲目 スッペ／喜歌劇『軽騎兵』序曲  
オフフェンバック／チェロ協奏曲 ト長調《軍隊風》(日本初演)  
スッペ／喜歌劇『美しきガラテア』序曲 ほか  
料金 S:6,500円/A:5,500円/B:4,500円/C:3,500円/Ex:2,500円  
問合 都響ガイド 0570-056-057

3日(木) 19:00開演

BOX

武蔵野合唱団 第52回定期演奏会

出演 小林研一郎(Cond)／澤江衣里(S)／高橋淳(T)／  
大沼徹(Br)／武蔵野合唱団(Chor)／  
フレアー少年合唱団(児童合唱)／読売日本交響楽団  
曲目 チャイコフスキー／大序曲「1812年」  
オルフ／カルミナ・ブラーナ  
料金 S:6,500円/A:5,500円/B:4,000円/ヤングシート:1,500円  
問合 武蔵野合唱団公式サイト予約フォーム 080-4811-4866

5日(土) 14:00開演

BOX

東京芸術劇場Presents プラスウィーク 2019  
東京佼成ウインドオーケストラ 第145回定期演奏会

出演 大井剛史(Cond)／東京佼成ウインドオーケストラ  
曲目 J.S.バッハ(D)ハンス(バーガー＝編)／前奏曲とフーガ 変ホ長調『聖アン』BWV552  
酒井健治/デチューン(名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同委嘱新作)  
高島勲/吹奏楽のための協奏曲 ほか  
料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,500円/C:1,500円/U25:2,000円  
問合 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

6日(日) 14:00開演

BOX

日本フィル 第228回サンデーコンサート

出演 山田和樹(Cond)／岡田孝(Pf)／日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 シベリウス／交響詩《フィンランディア》  
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番  
ベートーヴェン／交響曲第5番《運命》  
料金 S:7,000円/A:5,500円/B:5,000円/C:4,000円/  
Gs:4,000円/Ys:1,500円  
問合 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

Playhouse

8日(火)～15日(火)

BOX

NODA・MAP 第23回公演  
『Q』: A Night At The Kabuki

作・演出 野田秀樹 音楽 QUEEN  
出演 松たか子／上川隆也／広瀬すず／志尊淳／橋本さとし／小松和重／伊勢佳世／羽野晶紀／野田秀樹／竹中直人  
料金 【全席指定】S:12,000円/A:8,500円/サイドシート:5,700円※25歳以下の方は、サイドシート3,000円にてご購入いただけます。  
高校生割引:1,000円(事前申込制/要学生証)  
問合 NODA・MAP 03-6802-6681

Theatre East

3日(木)～14日(月・祝)

BOX

劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」

脚本 古川健(劇団チョコレートケーキ)  
演出 日澤雄介(劇団チョコレートケーキ)  
出演 西尾友樹 浅井伸治 岡本篤(以上、劇団チョコレートケーキ)／  
青木柳葉豪(タテコ企画) 菊池豪(Peachboys) 佐瀬弘幸 谷仲恵輔(JACROW) 吉田テツタ／松本紀保  
料金 【全席指定】前売:4,300円/当日:4,500円/初日割:4,000円/U25(25歳以下):3,800円  
※＝平成割(平成生まれの方は無料。要予約。要証明書提示。劇団のみ取扱)  
問合 劇団チョコレートケーキ 080-9080-1861

Theatre West

4日(金)～14日(月・祝)

BOX

「プルガトリオ  
ーあなたと私のいる部屋ー」

原作 アリエリ・ドーファン 演出 ニコラス・バーター 脚色 周防正行  
出演 草刈民代／高嶋政宏  
料金 【全席指定】9,000円  
問合 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

8日(火) 19:00開演

BOX

第16回チャイコフスキー国際コンクール  
優勝者ガラ・コンサート

出演 飯森範親(Cond)／セルゲイ・ドガージン(Vn)／  
サンティアゴ・カニョン＝ヴァレンシア(Vc)／  
ドミトリー・シシキン(Pf)／東京交響楽団  
曲目 チャイコフスキー／歌劇『エフゲニー・オネーギン』よりボロネーズ  
ピアノ協奏曲第1番、ロココの主題による変奏曲  
ヴァイオリン協奏曲  
料金 S:9,500円/A:7,500円/B:5,500円/学生:3,000円  
問合 ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

9日(水) 19:00開演

創価学会富士交響楽団  
新時代第10回定期演奏会

出演 柏木正信(Cond)／創価学会富士交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／バレエ音楽『プロメテウスの創造物』序曲  
スメタナ／交響詩『我が祖国』より「モルダウ」  
チャイコフスキー／交響曲第5番  
料金 【全席指定】無料(事前応募制)  
問合 非公開

10日(木) 19:00開演

BOX

コンスタンチン・シェルバコフ ピアノ・リサイタル

出演 コンスタンチン・シェルバコフ(Pf)  
曲目 ショパン/アンタンテスピアノートと華麗なる大ボロネーズ 変ホ長調 ほか  
料金 S:5,000円/A:4,500円/B:4,500円  
問合 MIN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999

11日(金) 19:00開演

BOX

ロビン・ティチャーティ指揮 ヘルリン・ドイツ交響楽団

出演 ロビン・ティチャーティ(Cond)／高木綾子(FI)／  
吉野直子(Hp)／ベルリン・ドイツ交響楽団  
曲目 R.シュトラウス／交響詩《ドン・ファン》  
モーツァルト／フルートとハープのための協奏曲 八長調  
マーラー／交響曲第1番 二長調《巨人》  
料金 S:20,000円/A:17,000円/B:14,000円/  
C:11,000円/D:8,000円  
問合 チケットスペース 03-3234-9999

12日(土) 14:00開演

メトロポリス・クラシックス

出演 梅田俊明(Cond)／朝岡聡(MC)／砂川涼子(S)／東京都交響楽団  
曲目 J.シュトラウス二世／喜歌劇『こもり』より 序曲  
喜歌劇『こもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」  
料金 【全席指定】無料(事前申込の上、抽選。募集は終了しました。)  
メトロ文化財団 メトロポリス・クラシックス事務局  
03-3663-6386

13日(日) 14:00開演

BOX

新交響楽団 第247回演奏会

出演 寺岡清高(Cond)／新交響楽団  
曲目 ドヴォルザーク／連作交響詩『水の精』『真昼の魔女』  
「金の紡ぎ車」「野鳩」「英雄の歌」  
料金 S:3,000円/A:2,500円/B:1,500円  
問合 コンサートイマジシ 03-3235-3777

14日(月・祝) 16:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第4回ポップス定期演奏会  
半崎美子 オーケストラコンサート 2019

出演 大崎慶子(Cond)／半崎美子(S)／東京ニューシティ管弦楽団  
曲目 『お弁当はこのうた～あなたへのお手紙』  
『サクラ～卒業できなかった君へ～』 ほか  
料金 【全席指定】9,000円  
問合 レキップトロフ 03-3470-0330

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット  
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)  
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。  
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。  
・原則未就学児のご入場はお断りしています。  
・※は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱います。  
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

17日(木) 19:30開演

BOX

ナイトタイム・バイブオルガンコンサート Vol.29

出演 ビエール・ダミアノ・ベレッティ(Org)  
料金 【全席指定】1,000円  
問合 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

19日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団 第221回土曜マチネーシリーズ

出演 ユーリ・テミルカーノフ(Cond)／  
セルゲイ・ハチャトゥリアン(Vn)／読売日本交響楽団  
曲目 プラームス／ヴァイオリン協奏曲 二長調  
交響曲第2番  
料金 [9月30日まで]S:7,500円/A:5,500円/B:4,500円/C:4,000円  
[10月1日以降]S:7,600円/A:5,600円/B:4,600円/C:4,100円  
問合 読響チケットセンター 0570-00-4390

20日(日) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団 第221回日曜マチネーシリーズ

出演 ユーリ・テミルカーノフ(Cond)／  
セルゲイ・ハチャトゥリアン(Vn)／読売日本交響楽団  
曲目 プラームス／ヴァイオリン協奏曲 二長調  
交響曲第2番  
料金 [9月30日まで]S:7,500円/A:5,500円/B:4,500円/C:4,000円  
[10月1日以降]S:7,600円/A:5,600円/B:4,600円/C:4,100円  
問合 読響チケットセンター 0570-00-4390

22日(火・祝) 15:00開演／19:00開演

悠木碧オーケストラコンサート

出演 大崎慶子(Cond)／悠木碧(Vo)／東京ニューシティ管弦楽団  
曲目 帰る場所があるということ  
永遠ラビンス  
料金 【全席指定】8,500円  
問合 レキップトロフ 03-3470-0330

24日(木)～26日(土)

BOX

東京芸術祭2019  
「暴力の歴史」(ドイツ語上演、日本語・英語字幕)

原作 エドゥアール・ルイ 演出 トーマス・オスターマイアー 演奏 トーマス・ウィット  
出演 クリストフ・ガヴェンダ／ラウレンツ・ラウフェンベルク／レナート・シュッフ／アリーナ・シュティエーグラ  
料金 【全席指定】前売…S:5,000円/A:4,000円/障害者割引…S:4,500円/A:3,600円/29歳以下…A:3,000円  
当日…S:5,500円/A:4,500円 ※推奨年齢16歳以上(この作品には、一部の性的・暴力的表現が含まれています)  
問合 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

25日(金)～27日(日)

BOX

東京芸術祭2019 フェスティバル/トーキョー19  
トランスフィールド from アジア  
ファンラオ・ダンスカンパニー「バンブー・トーク」「プニン」

原付 ウンラー・バーウドム／ヌーナファ・ソイダラ  
料金 【全席自由(整理番号付)】前売:3,500円/当日:4,000円/  
学生…前売当日:2,300円/高校生以下…前売当日:1,000円/各種割引券あり  
問合 F/Tチケットセンター 03-5961-5209

25日(金)～27日(日)

BOX

東京芸術祭2019  
APAF-アジア舞台芸術人材育成部門

料金 無料(予約優先)  
問合 APAF制作オフィス 03-4213-4293  
●＝Exhibition公演  
◆＝Exhibitionラップアップ  
◇＝Lab.最終プレゼン

略語表  
アルト(A)／ベース(B)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コントラバス(Cb)／チェンバロ(Cemb)／合唱(Chor)／クラリネット(Cl)／指揮者(Cond)／ユーフォ  
ニアム(Euph)／ファゴット(Fg)／フルート(F)／ハープ(Hp)／ホルン(Hr)／司会(MC)／メゾソプラノ(Ms)／オーボエ(Ob)／バイブオルガン(Org)／パー  
カッション(Per)／ピアノ(Pf)／ソプラノ(S)／サクソフォーン(Sax)／シンセサイザー(Syn)／テノール(T)／トロンボーン(Tb)／ティンパニ(Timp)／トラン  
ベツト(Tp)／チューバ(Tub)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／ヴァイオリン(Vn)／ヴォーカル(Vo)

23日(水) 11:00開演

BOX

芸劇ブランチコンサート  
～清水和音の名曲ラウンジ～  
第21回「ベートーヴェンの“大公トリオ”」

出演 伊藤亮太郎(Vn)／辻本玲(Vc)／清水和音(Pf)  
曲目 ベートーヴェン／エリーゼのために(Pf)  
ヘンデルの主題による変奏曲(Vc+Pf)  
ピアノ三重奏曲「大公」  
料金 【全席指定】2,400円  
問合 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

26日(土) 14:00開演

BOX

東京芸術劇場コンサートオペラvol.7  
ドビュッシー／『放蕩息子』&ビゼー／歌劇『ジャミレ』  
\*演奏会形式(日本語字幕・原語上演)

出演 佐藤正浩(Cond)／ザ・オペラ・バンド(管弦楽)／国立音楽大学合唱団(Chor)  
(ドビュッシー／『放蕩息子』)  
リア(母):浜田理恵/シメオン(父):ヴィタリ・ユシュマノフ/  
アザエル(放蕩息子):宮里直樹  
(ビゼー／歌劇『ジャミレ』)  
ジャミレ(女奴隷):鳥木弥生/アルーン(王子):樋口達哉/  
スプレンティアノ(使用人):岡昭宏  
料金 S:6,000円/A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円/  
D:1,500円/高校生以下\*:1,000円  
問合 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

28日(月) 19:00開演

BOX

読売日本交響楽団スペシャルコラボレーション  
さだ×よみ音楽会 ～さだまさしを迎えて～

出演 渡辺俊幸(Cond・編曲)／さだまさし(Vo)／読売日本交響楽団  
料金 【全席指定】12,000円  
問合 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

31日(木) 14:00開演／18:00開演

BOX

東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019  
シドニー・チェンバー・オペラ (シドニー、オーストラリア)  
「ハウリング・ガールズ」(字幕なし)

料金 【全席指定】前売:2,500円/当日:3,000円/障害者割引(前売のみ):2,250円  
問合 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

30日(水) 14:00開演／18:00開演

BOX

東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019  
エル・コンデ・デ・トレフィエル (バルセロナ、スペイン)  
「可能性は風景の前で姿を消す」  
(スペイン語上演、日本語・英語字幕)

料金 【全席指定】前売:2,500円/当日:3,000円/障害者割引(前売のみ):2,250円  
問合 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

30日(水) 15:30開演／19:30開演

BOX

東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019  
シャルル・ノムウエンデ・ティアンドルベオゴ(ワガドゥグ、ブルキナファソ)  
「たびたび罪を犯しました」(英語上演、日本語字幕)

料金 【全席指定】前売:2,500円/当日:3,000円/障害者割引(前売のみ):2,250円  
問合 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996



11 NOV

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

金

土

日

祝

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

東京芸術劇場

ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く

10:00～19:00

東京芸術劇場

ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・11日(月)・25日(月)

全館手荷物検査実施日:1日(金)

Concert Hall

1日(金) Closed・関係者のみ

令和元年度本郷中学校・高等学校音楽鑑賞会

2日(土) 14:00開演

ラファウ・ブレハッチ&アンドレイ・ボレイコ&ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

音楽・芸術監督 アンドレイ・ボレイコ

出演 ラファウ・ブレハッチ (Pf) / アンドレイ・ボレイコ (Cond) / ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

曲目 スタニスワフ・モニューシュコ / 歌劇「バリア」序曲

ショパン / ピアノ協奏曲第1 番

ピアノ協奏曲第2 番

料金 S:16,000円 / A:14,000円 / B:11,000円 / C:8,000円 / D:6,000円

問合せ ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

5日(火) 19:00開演

フィラデルフィア管弦楽団

出演 ヤニック・ネゼ＝セガン (Cond) / ハオチェン・チャン (Pf) / フィラデルフィア管弦楽団

曲目 ラファミノフ / ピアノ協奏曲第2番

ドヴォルザーク / 交響曲第9番「新世界から」

料金 S:32,000円 / A:27,000円 / B:22,000円 / C:17,000円 / D:13,000円 / プラチナ券:37,000円 (プラチナ券はカジモト・イープラスのみの取り扱い)

問合せ カジモト・イープラス 0570-06-9960

6日(水) 19:00開演

モーツァルト「レクイエム」  
ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場

出演 マルチン・ゾンボリンスキ (Cond) / エディタ・ピアセッカ (S) / エルジュビェタ・ブルブレフスカ (Ms) / エミル・ワヴェツキ (T) / アルトゥル・ヤンダ (Br) / ワルシャワ室内歌劇場管弦楽団

曲目 モーツァルト / 「フィガロの結婚」より『序曲』『手紙の二重唱』『ドン・ジョバンニ』より『お手をどうぞ』

レクイエム ほか

料金 S:9,500円 / A:7,500円 / B:5,500円

問合せ 光藍社チケットセンター 050-3776-6184

Playhouse

2日(土)・3日(日・祝)

東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019

dracom(大阪・日本)「ソコナイ図」(日本語上演・英語字幕)

料金 【全席指定】前売:2,500円 / 当日:3,000円 / 障害者割引(前売のみ):2,250円

問合せ 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

11月	2土	3日・祝
13:00		●
19:30	●	

4日(月・休) 17:30開演

東京芸術祭2019

東京芸術祭ワールドコンペティション2019 授賞式

料金 無料・予約なしで入場可能(先着順)

問合せ 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

Theatre East

2日(土) 15:30開演 / 19:30開演

東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019

戴陳連(北京・中国)

「紫気東来-ビッグ・ナッシング」(字幕なし)

料金 【全席指定】前売:2,500円 / 当日:3,000円 / 障害者割引(前売のみ):2,250円

問合せ 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

8日(金)～10日(日)

東京芸術祭2019 フェスティバル/トーキョー19

オールウェイズ・カミングホーム

(日本語・英語上演)

演出 マグダ・シュベフト

テキスト・ドラマトゥルク ウカツシュ・ヴォイティスコ ドラマトゥルク 滝口健

料金 【全席自由(整理番号付)】前売:3,500円 / 当日:4,000円 / 学生…前売当日:2,300円 / 高校生以下…前売当日:1,000円 / 各種割引券あり

問合せ F/Tチケットセンター 03-5961-5209

11月	8金	9土	10日
13:00			●
15:00		★	
19:00	●		

★＝ポストトーク等のイベントあり

16日(土)・17日(日) 10:10開演 / 12:40開演 / 17:00開演

第42回  
東京都高等学校文化祭演劇部門中央大会  
第73回  
東京都高等学校演劇コンクール中央発表会

料金 入場無料(事前予約制)

問合せ 東京都立深川高等学校 03-3649-2101

Theatre West

2日(土) 14:00開演 / 18:00開演

東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019

ボノボ (サンティアゴ・チリ)

「汝、愛せよ」(スペイン語上演・日本語・英語字幕)

料金 【全席指定】前売:2,500円 / 当日:3,000円 / 障害者割引(前売のみ):2,250円

問合せ 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

4日(月・休) 10:00開演

東京芸術祭2019

東京芸術祭

ワールドコンペティション2019審査会

料金 無料・予約なしで入場可能(先着順)

問合せ 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996

16日(土)・17日(日) 10:10開演 / 12:40開演 / 17:00開演

第42回  
東京都高等学校文化祭演劇部門中央大会  
第73回  
東京都高等学校演劇コンクール中央発表会

料金 入場無料(事前予約制)

問合せ 東京都立深川高等学校 03-3649-2101

BOX

東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

- ・プログラム 出演者等に変更が出る場合がございます。
- ・最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
- ・原則未就学児のご入場はお断りしています。
- ・＊は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。
- ・年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

16日(土) 14:00開演

東京都交響楽団 第891回定期演奏会

出演 エリアフ・インバル(Cond) / ヨゼフ・シュバチェク(Vn) / 東京都交響楽団

曲目 ショスタコーヴィチ / ヴァイオリン協奏曲第1 番

交響曲第12番《1917年》

料金 S:7,500円 / A:6,500円 / B:5,500円 / C:4,500円 / Ex:3,500円

問合せ 都響ガイド 0570-056-057

17日(日) 14:00開演

日本フィル 第229回サンデーコンサート

出演 広上淳一(Cond) / チェ・ホンロク (Pf) / 砂川涼子 (S) / 日本フィルハーモニー交響楽団 / 日本フィルハーモニー協会合唱団

曲目 ラファミノフ / ピアノ協奏曲第3番

ラター / マニフィカト

料金 S:7,000円 / A:5,500円 / B:5,000円 / C:4,000円 / Gs:4,000円 / Ys:1,500円

問合せ 日本フィルサービセンター 03-5378-5911

18日(月)・19日(火) Closed・関係者のみ

オカムラグランドコンサート2019

21日(木) 19:00開演

東京佼成ウインドオーケストラ 第146回定期演奏会

出演 ユベール・スダーン (Cond) / 東京佼成ウインドオーケストラ

曲目 オリヴァードーテ / 序曲「バラの謝肉祭」

ラヴェル(大橋晃一編) / 組曲「クーブランの墓」

真島俊夫 / Mont Fuji(富士山)～北斎の版画に触発されて～ ほか

料金 S:7,000円 / A:5,500円 / B:4,000円 / C:1,500円 / U-25:2,000円

問合せ 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

23日(土・祝) 14:00開演

読売日本交響楽団 第222回土曜マチネーシリーズ

出演 トマーシュ・ネトビル(Cond) / アレクサンドル・タロー (Pf) / 読売日本交響楽団

曲目 モーツァルト / 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲

交響曲第38番「プラハ」

ブルーランク / ピアノ協奏曲 ほか

料金 [9月30日まで]S:7,500円 / A:5,500円 / B:4,500円 / C:4,000円 [10月1日以降]S:7,600円 / A:5,600円 / B:4,600円 / C:4,100円

問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

21日(木)～24日(日)

eyes plus

鳥公園#15「終わりにする、一人と一人が丘」

演出 西尾佳織(鳥公園)

出演 石川修平(劇団俳優座) / 菊沢将憲 / 鳥島明(はえぎわ)

花井瑠奈 / 布施安寿香 (SPAC) / 和田華子(青年団)

料金 【全席自由(整理番号付)】一般…前売:3,500円 / 当日:3,800円 U25…前売:3,000円 / 当日:3,300円 高校生…前売当日:1,000円

問合せ 鳥公園(syuz'gen) 03-4213-4290

18日(月) 19:00開演

林家きく麿、瀧川鯉八、玉川太福 三人会  
「パーラーまろはちふく vol.2」

料金 【全席指定】3,000円

問合せ 夢空間 03-5785-0380

19日(火) 19:00開演

林家たけ平独演会 その13節  
「のびろたけ平」

料金 【全席指定】3,000円

問合せ 夢空間 03-5785-0380

略語表

アルト(A) / ベース(B) / バリトン(Br) / バス(Bs) / コントラバス(Cb) / チェンバロ(Cemb) / 合唱(Chor) / クラリネット(Cl) / 指揮者(Cond) / ユーフォニアム(Euph) / ファゴット(Fg) / フルート(Fl) / ハープ(Hp) / ホルン(Hr) / メゾプラ / (Ms) / オーボエ(Ob) / バイプオルガン(Org) / パーカッション(Per) / ピアノ(Pf) / ソプラノ(S) / サクソフォーン(Sax) / テノール(T) / トロンボーン(Tb) / ティンパニ(Timp) / トランペット(Tp) / チューバ(Tub) / ヴィオラ(Va) / チェロ(Vc) / ヴァイオリン(Vn)

24日(日) 14:00開演

読売日本交響楽団 第222回日曜マチネーシリーズ

26日(火) 18:00開演

東京音楽大学付属高等学校  
ユニセフ・チャリティーコンサート

出演 アンドレ・アンリ、広瀬宣行、坂本和彦、三原明人(Cond) / 外村理紗、前田妃奈(Vn) / 鈴木玲奈(S) / 稲垣拓巳(Pf) / 東京音楽大学付属高等学校生徒・教員

曲目 ノリス / サルサ・センセーション

武満徹 / 小さな空

サラサーテ / スペイン舞曲より『ナヴァーラ』ほか

料金 S:1,500円 / A:1,000円

問合せ 東京音楽大学付属高等学校チャリティーコンサート係 03-3945-6214

27日(水) 19:00開演

ベートーヴェン「第九」合唱付  
～Holiness・Comfortable and Enjoy～

出演 佐々木新平(Cond) / 藤原唯 (S) / 藤田彩歌 (Ms) / 又吉秀樹 (T) / 大川博 (Br) / 日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 ベートーヴェン / 交響曲第9番「合唱付」 ほか

料金 S:8,000円 / A:6,000円

問合せ イギン広報室 03-5495-1911

11月

9土

10日

11月

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

12月

1日

2日

3日

4日

5日

6日

7日

8日

9日

10日

11日

14:00

19:00

○＝聴覚障害者のための舞台説明会

◎＝聴覚障害者のためのポータル字幕機提供

演出 野田秀樹 監演 QUEEN 監演 松たか子 / 上川隆也 / 広瀬すず / 志尊淳 / 橋本さとし / 小松和重 / 伊勢佳世 / 羽野晶紀 / 野田秀樹 / 竹中直人

料金 【全席指定】S:12,000円 / A:8,500円 / サイドシート:5,700円※25歳以下の方は、サイドシート3,000円にてご購入いただけます。 / 高校生割引:1,000円(事前申込制 / 要学生証)

問合せ NODA・MAP 03-6802-6681

29日(金)～12月11日(水)

inseparable「変半身(かわりみ)」

監演 村田沙耶香 / 松井周 演出 松井周

出演 金子岳憲 三村和敬 大鶴美仁音 日高啓介 能島瑞穂 王宏元 / 安蘭けい

料金 【全席指定】前半割…前売:3,700円 / 当日:4,000円 一般…前売:4,200円 / 当日4,500円 学生…前売当日:3,000円(要証明) / 高校生以下(要証明)\*…前売当日:1,000円

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

11月	29土	30日	12月	1日	2月	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
14:00								▲		●				●
18:00	■			休演						●		休演		
19:00		■						▲		●			●	

■＝前半割 ▲＝撮影のため、客席にカメラが設置されます

23日(土・祝)・24日(日)

石井智子 スペイン舞踊団公演「コハクノモリー-El bosque de ámbar－」

演出・監付 石井智子 出演 (踊り)石井智子 / エル・フンコ / 石井智子スペイン舞踊団 / (俳優)磯部勉 / 東地宏樹 / みとべ千希己

料金 【全席指定】S:10,000円 / A:8,000円

問合せ 石井智子フラメンコスタジオ事務局 03-3564-9070

29日(金)～12月22日(日)

二兎社公演43  
「私たちは何も知らない」

作・演出 永井愛 出演 朝倉あき / 藤野涼子 / 大西礼芳 / 夏子 / 富山えり子 / 須藤蓮 / 枝元晴

料金 【全席指定】一般:6,000円 / 25歳以下:3,000円 / 高校生以下\*:1,000円

問合せ 二兎社 03-3991-8872



12

DEC▶

12月

1日  
日

2日  
月

3日  
火

4日  
水

5日  
木

6日  
金

7日  
土

8日  
日

9日  
月

10日  
火

11日  
水

12日  
木

13日  
金

14日  
土

15日  
日

16日  
月

17日  
火

18日  
水

19日  
木

20日  
金

21日  
土

22日  
日

23日  
月

24日  
火

25日  
水

26日  
木

27日  
金

28日  
土

29日  
日

30日  
月

31日  
火

東京芸術劇場  
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く  
10:00～19:00

東京芸術劇場  
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・9日(月)・28日(土)～31日(火)

Concert Hall

1日(日) 14:00開演

BOX

丸の内交響楽団 第25回記念演奏会

出演 松元宏康(Cond)／丸の内交響楽団  
曲目 プラームス／交響曲第1番  
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲「展覧会の絵」  
料金 【全席指定】前売:500円／当日:1,000円  
問合せ 丸の内交響楽団事務局 042-339-3616

2日(月) 19:00開演

警視庁音楽隊プレミアムシンフォニックコンサート  
～祝 天皇家下御即位～

出演 佐藤親悟(Cond)／警視庁音楽隊、警視庁音楽隊カラーガード“MEC”  
曲目 ドリープ／コッペリア  
A.リード／小組曲  
萩野松宣／天皇家下御即位記念委嘱作品 ほか  
料金 【全席指定】無料(要事前申込。9月27日募集締切)  
問合せ 警視庁音楽隊 03-3581-4321

3日(火) 18:20開演

BOX

第58回立教大学メサイア演奏会

出演 増田宏昭(Cond)／佐竹由美(S)／山下牧子(A)／  
小貫岩夫(T)／久保和範(Br)／立教大学グリークラブ、  
立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊、一般合唱者、立教大学交響楽団  
曲目 ヘンデル／メサイア  
料金 S:2,500円／A:2,000円／B:1,000円／学生:500円／  
Aベア:3,000円／Bベア:1,500円  
問合せ 立教大学池袋キャンパスチャペル会館2階ロビー 03-3985-2683

4日(水) 19:00開演

BOX

武蔵野音楽大学管弦楽団合唱団演奏会

出演 飯守泰次郎(Cond)／森谷真理(S)／鳥谷尚子(A)／  
青地英幸(T)／三戸大久(B)／  
武蔵野音楽大学管弦楽団、武蔵野音楽大学合唱団  
曲目 ベートーヴェン／莊嚴ミサ曲 二長調  
料金 【全席指定】1,500円  
問合せ 武蔵野音楽大学演奏部 03-3992-1120

6日(金) 19:00開演

BOX

東京芸術劇場presents  
井上道義&読売日本交響楽団  
マーラー／交響曲第3番

出演 井上道義(Cond)／池田香織(A、合唱指導)／首都圏音楽大学合同コース、  
TOKYO FM 少年合唱団／読売日本交響楽団  
曲目 マーラー／交響曲第3番  
料金 S:6,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円／  
D:2,500円／高校生以下\*:1,000円  
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

7日(土) 17:00開演

早稲田大学グリークラブ 第67回定期演奏会

出演 相澤直人(Cond)／早稲田大学グリークラブ  
曲目 鈴木憲夫／男声合唱組曲「永久ニ」  
青島広志／子どもの心を忘れない人のための「ポール・バンヤン」  
三宅悠太／委嘱作品 ほか  
料金 S:3,000円／A:2,000円／B:1,000円  
問合せ 早稲田大学グリークラブ 03-3208-4100

8日(日) 14:00開演

BOX

東京都交響楽団 第892回定期演奏会

出演 アラン・ギルバート(Cond)／矢部達哉(Vn)／東京都交響楽団  
曲目 リスト(アダムズ編)／悲しみのゴンドラ  
バルトーク／ヴァイオリン協奏曲第1番  
アデス／クープランから3つの習作(2006)【日本初演】  
ハイドン／交響曲第90番  
料金 S:7,500円／A:6,500円／B:5,500円／C:4,500円／Ex:3,500円  
問合せ 都響ガイド 0570-056-057

10日(火) 19:00開演

東京フロイデ合唱団 第22回演奏会

出演 小松長生(Cond)／森麻季(S)／林美智子(Ms)／福井敬(T)／  
青山貴(Br)／日本フィルハーモニー交響楽団／東京フロイデ合唱団  
曲目 ベートーヴェン／エグmont序曲、交響曲第9番《合唱》  
料金 S:5,000円／A:4,000円／B:3,000円／C:2,000円／D:1,000円  
問合せ 東京フロイデ合唱団 03-5940-0731

11日(水) 11:00開演

BOX

芸劇ブランチコンサート  
～清水和音の名曲ラウンジ～  
第22回「プラームスはお好き?」

出演 松田理奈、峠谷直人(Vn)／佐々木亮(Va)／  
向山佳絵子(Vc)／清水和音(Pf)  
曲目 プラームス／愛の歌(Vc+Pf)  
ハンガリー舞曲第5番(Vn+Pf)  
ピアノ五重奏曲  
料金 【全席指定】2,400円  
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

12日(木) 18:30開演

BOX

武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル演奏会

出演 ラリー・オースティン(Cond)／武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル  
料金 【全席指定】一般:1,500円  
問合せ 武蔵野音楽大学演奏部 03-3992-1120

13日(金) 19:00開演

一橋大学管弦楽団 創立100周年記念  
第67回定期演奏会

出演 田中一嘉(Cond)／山田英津子(S)／森公美(A)／  
神奈川フィル合唱団／一橋大学管弦楽団  
曲目 齊藤栄一／前奏曲  
マーラー／交響曲第2番「復活」  
料金 S:1,500円／A:1,000円／B:500円  
問合せ 広報担当 090-9498-6551

14日(土) 14:00開演

BOX

NHK交響楽団 演奏会

出演 バプロ・エラス・カサド(Cond)／ダニエル・ハリトリノフ(Pf)／  
NHK交響楽団  
曲目 リムスキー・コルサコフ／スペイン奇想曲  
リスト／ピアノ協奏曲 第1番  
チャイコフスキー／交響曲第1番「冬の日の幻想」  
料金 S:7,000円／A:6,000円／B:5,000円／C:4,000円／  
D:3,000円／E:1,500円／高校生以下\*:1,000円  
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

BOX

東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット  
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)……

・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。  
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。  
・原則未就学児のご入場はお断りしています。  
・※は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。  
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

15日(日) 18:00開演

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団  
第144回定期演奏会

出演 佐藤正浩、清水雅彦、山内祥平(Cond)／  
慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団  
曲目 Colors～ラトビアの人と風景～  
男声合唱組曲「青い小径」,「終わりのない歌」 ほか  
料金 S:3,000円／A:2,000円／B:1,000円  
問合せ チケット担当 090-3590-7832

17日(火) 19:00開演

BOX

SHINRYO Presents「第九」特別演奏会

出演 アイヴァー・ボルトン(Cond)／シルヴィア・シュヴァルツ(S)／  
池田香織(Ms)／小堀勇介(T)／トーマス・オリーマンス(Br)／  
新国立劇場合唱団(合唱指揮:三澤洋史)／読売日本交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付き」  
料金 [9月30日まで]S:9,500円／A:7,500円／B:6,000円／C:4,500円  
[10月1日以降]S:9,700円／A:7,600円／B:6,100円／C:4,600円  
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

19日(木) 19:00開演

BOX

交声曲「海道東征」

出演 北原幸男(Cond)／森谷真理、盛田麻央(S)／小泉詠子(A)  
樋口達哉(T)／原田圭(Br)／  
東京混声合唱団、世田谷ジュニア合唱団、東京交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第7番  
信時潔／交声曲「海道東征」  
料金 S:8,000円／A:6,000円／B:4,000円  
問合せ 日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545

20日(金) 19:00開演

BOX

キエフ国立フィルハーモニー交響楽団  
「第九」「四季」

出演 ニコライ・ジャジュラ(Cond)／キエフ国立フィルハーモニー交響楽団／  
イフナ・ブリュシ(S)／オリガ・タプリナ(A)／オレクサンドル・チュピロ(T)／  
アンドリー・マズリャコフ(Br)／大谷康子(Vn)／キエフ国立フィルハーモニー交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付き」  
ヴィヴァルディ／「四季」より「春」「冬」  
料金 S:9,000円／A:8,000円／B:7,000円  
問合せ MIN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999

15日(日) 9:50開演

東京都特別支援学校第28回総合文化祭  
「舞台芸術・演劇祭」

料金 【全席自由】 入場無料  
問合せ 東京都教育庁指導部特別支援教育指導課 03-5321-1111(内 53-726)

略語表

アルト(A)／ベース(B)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コントラバス(Cb)／チェンバロ(Cemb)／合唱(Chor)／クラリネット(Cl)／指揮者(Cond)／ユーフォニアム(Euph)／ファゴット(Fg)／フルート(FI)／ハープ(Hp)／ホルン(Hr)／メゾソプラノ(Ms)／オーボエ(Ob)／バイプオルガン(Org)／パーカッション(Per)／ピアノ(Pf)／ソプラノ(S)／サクソフォーン(Sax)／テノール(T)／トロンボーン(Tb)／ティンパニ(Timp)／トランペット(Tp)／チューバ(Tub)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／ヴァイオリン(Vn)

21日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団 第223回土曜マチネーシリーズ

出演 アイヴァー・ボルトン(Cond)／シルヴィア・シュヴァルツ(S)／  
池田香織(Ms)／小堀勇介(T)／トーマス・オリーマンス(Br)／  
新国立劇場合唱団(合唱指揮:三澤洋史)／読売日本交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付き」  
料金 [9月30日まで]S:9,500円／A:7,500円／B:6,000円／C:4,500円  
[10月1日以降]S:9,700円／A:7,600円／B:6,100円／C:4,600円  
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

22日(日) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団 第223回日曜マチネーシリーズ

出演 アイヴァー・ボルトン(Cond)／シルヴィア・シュヴァルツ(S)／  
池田香織(Ms)／小堀勇介(T)／トーマス・オリーマンス(Br)／  
新国立劇場合唱団(合唱指揮:三澤洋史)／読売日本交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付き」  
料金 [9月30日まで]S:9,500円／A:7,500円／B:6,000円／C:4,500円  
[10月1日以降]S:9,700円／A:7,600円／B:6,100円／C:4,600円  
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

23日(月) 19:00開演

BOX

都響スペシャル「第九」

出演 レオシュ・スワロフスキー(Cond)／安井陽子(S)／富岡明子(Ms)／  
福井敬(T)／甲斐栄次郎(Br)／二期会合唱団／東京都交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第9番《合唱付》  
料金 S:8,500円／A:7,500円／B:6,500円／C:5,500円／  
Ex:3,500円  
問合せ 都響ガイド 0570-056-057

24日(火) 19:00開演

BOX

日本フィル第九特別演奏会2019

出演 小林研一郎(Cond)／石丸由佳(Org)／  
ザリナ・アルティエンバエヴァ(S)／加藤のぞみ(A)／錦織健(T)／  
青戸知(Br)／東京音楽大学合唱団／日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第九番《合唱》  
パッハ／トッカータとフーガ 二短調  
ブクステフーデ／甘き喜びに包まれ ほか  
料金 S:9,000円／A:7,500円／B:7,000円／C:6,000円／  
Gs:6,000円／Ys:3,500円  
問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

26日(木) 19:00開演

BOX

日本フィル第九特別演奏会2019

出演 小林研一郎(Cond)／石丸由佳(Org)／市原愛(S)／  
山下牧子(A)／錦織健(T)／青山貴(Br)／武蔵野合唱団／  
日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第九番《合唱》  
パッハ／トッカータとフーガ 二短調  
ブクステフーデ／甘き喜びに包まれ ほか  
料金 S:9,000円／A:7,500円／B:7,000円／C:6,000円／  
Gs:6,000円／Ys:3,500円  
問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

27日(金) 19:00開演

BOX

東洋大学「第九」演奏会  
(東洋大学管弦楽団 第84回定期演奏会)

出演 中田延亮(Cond)／小村朋代(S)／谷地歌晶子(A)／  
又吉秀樹(T)／新見準平(Br)／東洋大学白山グリークラブ／  
坂戸第九を歌う会／東洋大学管弦楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第九番「合唱付」  
ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」第一幕への前奏曲  
料金 【全席指定】一般:1,000円／大学生・専門学生:500円／  
高校生以下:無料  
問合せ 事務部門 050-5359-8970

28日(土) 14:00開演

BOX

日本フィル第九特別演奏会2019

出演 小林研一郎(Cond)／石丸由佳(Org)／市原愛(S)／山下牧子(A)／  
錦織健(T)／青山貴(Br)／日本フィルハーモニー協会合唱団／  
日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／交響曲第九番《合唱》  
パッハ／トッカータとフーガ 二短調  
ブクステフーデ／甘き喜びに包まれ ほか  
料金 S:9,000円／A:7,500円／B:7,000円／C:6,000円／  
Gs:6,000円／Ys:3,500円  
問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

Playhouse

～11日(水)

BOX

NODA・MAP 第23回公演  
『Q』: A Night At The Kabuki

作・演出 野田秀樹 音楽 QUEEN 出演 松たか子／上川隆也／広瀬すず／志尊淳／橋本さとし／小松和重／伊勢佳世／羽野晶紀／野田秀樹／竹中直人  
料金 【全席指定】S:12,000円／A:8,500円／サイドシート:5,700円※25歳以下の方は、サイドシート3,000円にてご購入いただけます。／高校生割引:1,000円(事前申込制／要学生証)  
問合せ NODA・MAP 03-6802-6681

Theatre East

～11日(水)

BOX

inseparable  
「変半身(かわりみ)」

原案 村田沙耶香／松井周 作・演出 松井周  
出演 金子岳憲 三村和敬 大鶴美仁音 日高啓介 能島瑞穂 王宏元／安蘭けい  
料金 【全席指定】前半割…前売:3,700円／当日:4,000円  
一般…前売:4,200円／当日4,500円  
学生…前売当日:3,000円(要証明) 高校生以下(要証明)\*…前売当日:1,000円  
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

14日(土) 11:30開演／16:00開演

ゴールデンタイム Season.1 リターンズ

料金 【全席自由】3,000円／学生:2,000円  
問合せ ENcounter ENgravers 080-7702-6809

15日(日) 17:30開演

「美・芸術としての武道  
～新陰流協会 15周年ライブ」

料金 【全席指定】3,000円  
問合せ 新陰流協会 080-5413-6426

18日(水)～22日(日)

BOX

eyes plus  
12月のワワフラミンゴ「くも行き」

作・演出 鳥山フキ  
出演 北村恵／生実慧／佐伯さち子／椎橋綾那／多賀麻美／柳沢茂樹／森すみれ  
料金 【全席自由(整理番号付)】一般:2,800円／U-25:2,500円／  
高校生以下…前売当日:1,000円／当日:各200円増  
問合せ ワワフラミンゴ wawafllamingo@gmail.com

25日(水)～29日(日)

リーディングシアター「キオスク」

脚本 ローベルト・ゼーターラー  
上演台本・演出 石丸さち子  
出演 末澤誠也(関西ジャニーズJr.)／  
一路真輝／上西星来／岸祐二／山路和弘  
料金 【全席指定】7,150円  
問合せ キューブ 03-5485-2252

Theatre West

～22日(日)

BOX

二兎社公演43「私たちは何も知らない」

作・演出 永井愛 出演 朝倉あき／藤野涼子／大西礼芳／夏子／富山えり子／須藤蓮／枝元晴  
料金 【全席指定】一般:6,000円／25歳以下:3,000円／高校生以下\*:1,000円 問合せ 二兎社 03-3991-8872

25日(水)～29日(日)

RISU PRODUCE vol.23 20周年記念公演 第三弾  
「ほしぞらのしたで」

作・演出 松本匠  
出演 横関健悟／朝枝知絃／吉田芽吹／中尾太一 ほか  
料金 【全席指定】5,500円 問合せ RISU PRODUCE Tel.042-364-4881



Gallery 1 (5F)			
10	1日(火)・2日(水) 第38回秋の日本水墨画展 【問合せ】 竹中 048-474-2239	5日(土)～13日(日)※7日(月)休館日を除く 無料 玉川学園創立90周年特別展 「ジョン・グールドの鳥類図譜」 「学会文化・芸術展」 【問合せ】 玉川大学教育博物館 042-739-8656 玉川大学・玉川学園校友会 042-739-8960	17日(木)～20日(日) 無料 日本ヨーロッパ3ヵ国 合同交流展2019 【問合せ】 日欧宮殿芸術協会 03-5318-9061
		24日(木)～27日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第33回紅霧書展・ 第36回書藝選拔展 合同開催 【問合せ】 東京書道教育会 03-5770-6811	29日(火)～11月4日(月・休) 無料 第22回公募インテリアの書展 【問合せ】 墨のサロン 049-284-4311
11	5日(火)～10日(日) 無料 第26回臨書と自由書作品展 【問合せ】 高橋 03-3371-5123	12日(火)～16日(土) 無料 豊島区総合美術展 (日本画・洋画・彫刻・工芸・書) 【問合せ】 としま未来文化財団 事業企画グループ 03-3590-7118	20日(水)～24日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第32回東京都高等学校文化連盟書道展 【問合せ】 都立足立東高等学校 矢口 03-3620-5991
		27日(水)～12月1日(日) 無料 十人十色百選百巡栄美子戸田ローブと ニューゼファーズキルト展 【問合せ】 ニューゼファーズ事務局 三沢 042-491-0797	
12	7日(土)・8日(日) Gallery 1・2同時開催 令和と共に歩む花 いけばな池坊展 【問合せ】 影山 042-362-6609	12日(木)～15日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第38回肢体不自由児・者の美術展／ デジタル写真展 【問合せ】 吉原 03-5995-4511	17日(火)～22日(日) 無料 第16回銀粘土でつくるシルバー アクセサリコンテスト国際展 【問合せ】 アートクレイ倶楽部事務局 松下 042-366-8771
		24日(火)～27日(金) 無料 日本イタリア国際交流芸術展 【問合せ】 稲富 03-5911-2292	

Gallery 2 (5F)			
10	1日(火)・2日(水) 無料 第10回ART CONFUSE展 【問合せ】 日本美術会 03-5842-5665	16日(水)～20日(日) 無料 第7回心と書道会小品展 【問合せ】 庭野 090-3505-2082	24日(木)～27日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第33回紅霧書展・ 第36回書藝選拔展 合同開催 【問合せ】 東京書道教育会 03-5770-6811
		28日(月)～11月4日(月・休) 無料 第2回 CLUB LIGHT PARTY 写真展 【問合せ】 才村 090-5444-0741	
11	5日(火)～10日(日) 無料 現代水墨画今岡紫雲英 グループ墨展 【問合せ】 吉田 03-3990-0496	14日(木)～16日(土) 無料 豊島区総合美術展(いけばな) 【問合せ】 としま未来文化財団 事業企画グループ 03-3590-7118	20日(水)～24日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第32回東京都高等学校文化連盟書道展 【問合せ】 都立足立東高等学校 矢口 03-3620-5991
		27日(水)～12月1日(日) 無料 ～森の宝石～八色鳥 松村伸夫写真展 【問合せ】 松村 090-1022-8658	
12	7日(土)・8日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 令和と共に歩む花 いけばな池坊展 【問合せ】 影山 042-362-6609	12日(木)～15日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第38回肢体不自由児・者の美術展／ デジタル写真展 【問合せ】 吉原 03-5995-4511	21日(土)・22日(日) 無料 巣鴨学園美術書道作品展 【問合せ】 巣鴨学園 03-3918-5311

Atelier East (B1F)			
10	1日(火)・2日(水) 無料 一会展 ～花笑みの書～ 【問合せ】 酒井 090-2219-5736	3日(木)～6日(日) 無料 第15回日本画 一会の会展 【問合せ】 秀島 03-3997-9548	9日(水)～14日(月・祝) 無料 第6回酒井康堂・ 子遠一門会 忘形印社展 【問合せ】 周 080-6670-0567
		15日(火)～20日(日) 無料 第19回板画の会展 【問合せ】 三田 090-7715-4171	22日(火・祝)～27日(日) 無料 第11回連合・ILEC 幸せさがし文化展 【問合せ】 教育文化協会 03-5295-5421
11	5日(火)～10日(日) 無料 第22回ふくろう写真展 【問合せ】 清水 048-463-3367	18日(月)～24日(日) 無料 第4回彩心展 【問合せ】 原 090-3688-2612	30日(水)～11月3日(日・祝)※11月1日(金)を除く 有料 東アジア文化都市2019豊島 舞台芸術部門 スペシャル事業 アート体験支援型託児 【料金】 500円 【問合せ】 豊島区 03-4566-2841
		27日(水)～12月1日(日) 無料 第4回写真の社合同作品展 【問合せ】 富田 090-8840-1652	

Atelier West (B1F)			
10	1日(火)・2日(水) 無料 シルクロードからのきもの展示 大野信幸 【問合せ】 大野 090-3353-9858	3日(木)～6日(日) 無料 第26回創作者集団 アートビックス展 【問合せ】 鈴木 03-3805-5111	8日(火)～14日(月・祝) 無料 フォトクラブ・セルコバ 第5回写真展 ～それぞれの想い～ 【問合せ】 棚井 090-4822-6510
		16日(水)～20日(日) 無料 第27回希鳳会書作展 【問合せ】 庭野 090-3505-2082	24日(木)～27日(日) 無料 第21回愚山会展 【問合せ】 東京書道教育会 03-5770-6811
11	4日(月・休) 無料 東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019 審査会 【問合せ】 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996	5日(火)～10日(日) 無料 第34回新生会展 【問合せ】 加山 03-3930-2035	19日(火)～24日(日) 無料 キャンノンフォトクラブエアライナーズ写真展 飛行機のある風景 【問合せ】 エアライナーズ写真展2019事務局 airliners2019.cpc@gmail.com
		27日(水)～12月1日(日) 無料 Shanti Etsuko Ganga展 (水彩・油彩画) 【問合せ】 高業 090-6466-7229	

10	1日(火)・2日(水) 無料 シルクロードからのきもの展示 大野信幸 【問合せ】 大野 090-3353-9858	3日(木)～6日(日) 無料 第26回創作者集団 アートビックス展 【問合せ】 鈴木 03-3805-5111	8日(火)～14日(月・祝) 無料 フォトクラブ・セルコバ 第5回写真展 ～それぞれの想い～ 【問合せ】 棚井 090-4822-6510	16日(水)～20日(日) 無料 第27回希鳳会書作展 【問合せ】 庭野 090-3505-2082	24日(木)～27日(日) 無料 第21回愚山会展 【問合せ】 東京書道教育会 03-5770-6811	30日(水)・31日(木) 無料 東京芸術祭2019 東京芸術祭ワールドコンペティション2019 推薦人トーク 【問合せ】 東京芸術祭実行委員会事務局 050-1746-0996
		5日(火)～10日(日) 無料 第34回新生会展 【問合せ】 加山 03-3930-2035	19日(火)～24日(日) 無料 キャンノンフォトクラブエアライナーズ写真展 飛行機のある風景 【問合せ】 エアライナーズ写真展2019事務局 airliners2019.cpc@gmail.com	27日(水)～12月1日(日) 無料 Shanti Etsuko Ganga展 (水彩・油彩画) 【問合せ】 高業 090-6466-7229		
12	12日(木)～15日(日)※12月12日(木)は展示のみ 有料 紛争地域から生まれた演劇11 【料金】 展示は無料 リーディング上演は有料(学生:1,000円/一般:1,500円) 【問合せ】 国際演劇協会日本センター 03-3478-2189	19日(木)～22日(日) 無料 第6回ぺっ甲デザインコンテスト& ぺっ甲加工体験教室 【問合せ】 塩谷 090-5126-3079	26日(木)・27日(金) 無料 東京芸術劇場アーツアカデミー研修生企画 芸劇こどものアトリエ「空間えほんであそぼう！」 【問合せ】 東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116			

英国ドラマ教育の現場より ファシリテーターのためのワークショップ

11月17日(日)～12月1日(日) シンフォニースペース ほか

詳細はHPへ



演劇ワークショップから考える社会的包摂

毎年大好評をいただいている、ファシリテーターのためのワークショップ。

今年も英国のドラマ教育にて活躍するスチュワート・メルトンと、新たにダニエル・ペーカーを招き、演劇ワークショップを通して社会的包摂について考えます。

プロのファシリテーターを目指す方のための「プロフェッショナル養成コース」では、講師との面談で各自が抱える課題や目標を明確にし、コミュニティ施設等での現場実習を重ねながら、ファシリテーション・スキルの向上を目指します。

また、特別支援教室の子どもや移民・難民に向けたファシリテーションを学ぶワークショップや、英国の様々な教育普及プログラムを紹介するレクチャーも開催します。

ワークショップ

①11月18日(月) 18:30～21:30

②11月24日(日) 18:30～21:30

【料金】参加者:各回2,000円、見学者:各回1,000円

【申込締切】2019年10月25日(金)

【お問合せ】東京芸術劇場 教育普及担当 03-5391-2116

レクチャー

①11月17日(日) 18:30～21:00

②11月20日(水) 18:30～21:00

【料金】各回500円

【定員】各回60名(先着順)

プロフェッショナル養成コース

11月18日(月)～12月1日(日)の内10日間

※11月23日(土・祝)～25日(月)、27日(水)は休み

【料金】15,000円

【申込締切】2019年10月25日(金)

東京芸術劇場アーツアカデミー研修生企画 芸劇こどものアトリエ「空間えほんであそぼう！」

無 料

12月26日(木)・27日(金) 9:30～17:30 アトリエウエスト

詳細はP19へ



舞台美術家 長峰麻貴

舞台美術で楽しむおはなし会

東京芸術劇場は、より多くの人々に開かれた劇場を目指して、こどもたちのあそびばをオープン。伊藤薫朔賞新人賞(第43回)奨励賞(第46回)受賞者の舞台美術家・アーティストの長峰麻貴が手掛ける、絵本から発想を得た舞台美術の中を、来場者は自由に出入り楽しむことができます。劇場デビューのお子さまも大歓迎！

読み聞かせのほか、ものを作ったり、身体を動かしたり、音で遊んだりする無料ワークショップイベントを開催します。どんな絵本が飛び出すかは来てからのお楽しみ！

無料イベント 12月26日(木) 10:00開始〇／14:00開始●  
12月27日(金) 10:00開始〇／14:00開始●  
〇:未就学児対象(50分) ●:小学生対象(90分)

【無料イベント申込開始】10月中旬予定(要事前予約・先着順)

【お問合せ】東京芸術劇場 人材育成担当 03-5391-2116

集まれ! 池袋みんなの大道芸

無 料

10月5日(土)・6日(日)・26日(土)・27日(日)

詳細はHPへ

11月2日(土)・3日(日・祝)・4日(月・休) 劇場前広場



Julot

ゴールデンウィークに賑わいをみせた「集まれ! 池袋みんなの大道芸」を引き続き開催。アクロバットパフォーマンス、パントマイム、マジック等、また、滅多に見られない海外からのスペシャルゲストも出演! ボールやディアボロなどの技にチャレンジできる「チャレンジ広場」も開催します。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係  
03-5391-2116

芸劇+まちがく(東京芸術劇場+都市文化公開フォーラム)

12月4日(水) 18:30開始 アル・テアトロ(2F) 詳細はHPへ



北川フラム

©Mao Yamamoto

アートが持つポテンシャルを活用した街づくりのバイオニアである北川フラムをモデレーターに迎え、アート、文学、演劇、音楽、建築等を切り口に、各回テーマに即したゲストを招き実施しているフォーラム「芸劇+まちがく」。12月実施の第10回目は、文化政策研究のエキスパート太下義之をゲストに迎え、食と地域をテーマに北川フラムと語ります。

【料金】3,000 円(学生:2,000円) 食事付

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係

03-5391-2116





## 池袋西口公園が野外劇場になる！

東京芸術劇場に隣接した池袋西口公園は、  
クラシックコンサートやダンス、  
演劇などに対応した野外劇場に生まれ変わります。



本格的な音響・照明装置を装備するとともに舞台上部には横11m縦3mの大型ビジョンを設置。  
公園内にはインフォメーション機能をあわせ持つおしゃれなカフェや、直径35mのシンボリックなグローバルリングが整備されるなど、  
ターミナル駅から至近の位置に、こうした空間が出現するのは日本初！  
そして、ここでは週1回、日没以降の時間帯に定期的にクラシックコンサートが開催されます。  
誰もが主役になれる劇場都市の象徴として、新たなナイトライフ観光の拠点として、池袋西口のランドマークとして生まれかわります。

### 革新的なデジタルアートの聖地として！

大型ビジョンとグローバルリングの照明、8chスピーカーから流れる音楽、  
広場中央の水盤が連動する最新テクノロジーをフル活用して、来園者全員が  
楽しめるデジタルアート空間が創出されます。

曜日や天気、気温に応じて演出が変化する時報コンテンツや、国内外  
トップクラスのデジタルアーティスト、メディアアーティストを招聘して  
制作するオリジナルコンテンツは一見の価値あり。また、スマホを利用し  
た参加型コンテンツも登場します。

グローバルリングにスマホをかざすと5本のリングが五線譜となり、画面には音符が表示されます。そして、リングに沿ってスマホを一周動かすと音符の動きに合わせて楽曲が流れてくるなどといったデジタルアートの体験機会を創出します。



### リニューアルオープンは11月！

11月16日(土)のオープニングセレモニーに続く23日(土・祝)には、東アジア文化都市2019豊島のスペシャル事業として古代インドの国民的大叙事詩のなかで最も美しいロマンスといわれる『ナラ王物語』を絢爛豪華な舞台絵巻に昇華させた宮城聡の代表作『マハーバーラタ 〜ナラ王の冒険〜』豊島区バージョンを上演します。俳優たちの動きと重厚な語り、さらに生演奏が三位一体となった天上の祝祭を、会場に出現した圧巻の360度のパノラマ舞台にて繰り広げます。



※「池袋西口公園野外劇場」は一般貸出利用(有料)もごございます。  
【お問合せ】公益財団法人としま未来文化財団 03-6912-5211

## I N F O R M A T I O N

### 手荷物検査実施のお知らせ

東京芸術劇場では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、セキュリティ対策を更に充実・強化させていくため、ラグビーワールドカップ2019日本大会の東京会場開催期間(2019年10月5日(土)、6日(日)、19日(土)、20日(日)、11月1日(金)各日開館～22:00)に、劇場へご来館のすべてのお客様に対し、手荷物検査を実施いたします。

鑑賞サポート | 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス、ボディソニック(対象日限定・無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

10～12月  
対象公演

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.29  
東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.135  
NODA・MAP第23回公演『Q』: A Night At The Kabuki

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

お詫びと訂正 「芸劇BUZZ」28号10ページ(COMING UP NEXT)に誤記がございました。お詫びして訂正いたします。 誤)鳥公演 正)鳥公園

## お客様が心ゆくまで感動を味わっていただくために

ヴォートルは、コンサートや演劇公演の受付案内・チケット販売業務及びコールセンター業務をサポートいたします。



スタッフ  
募集中

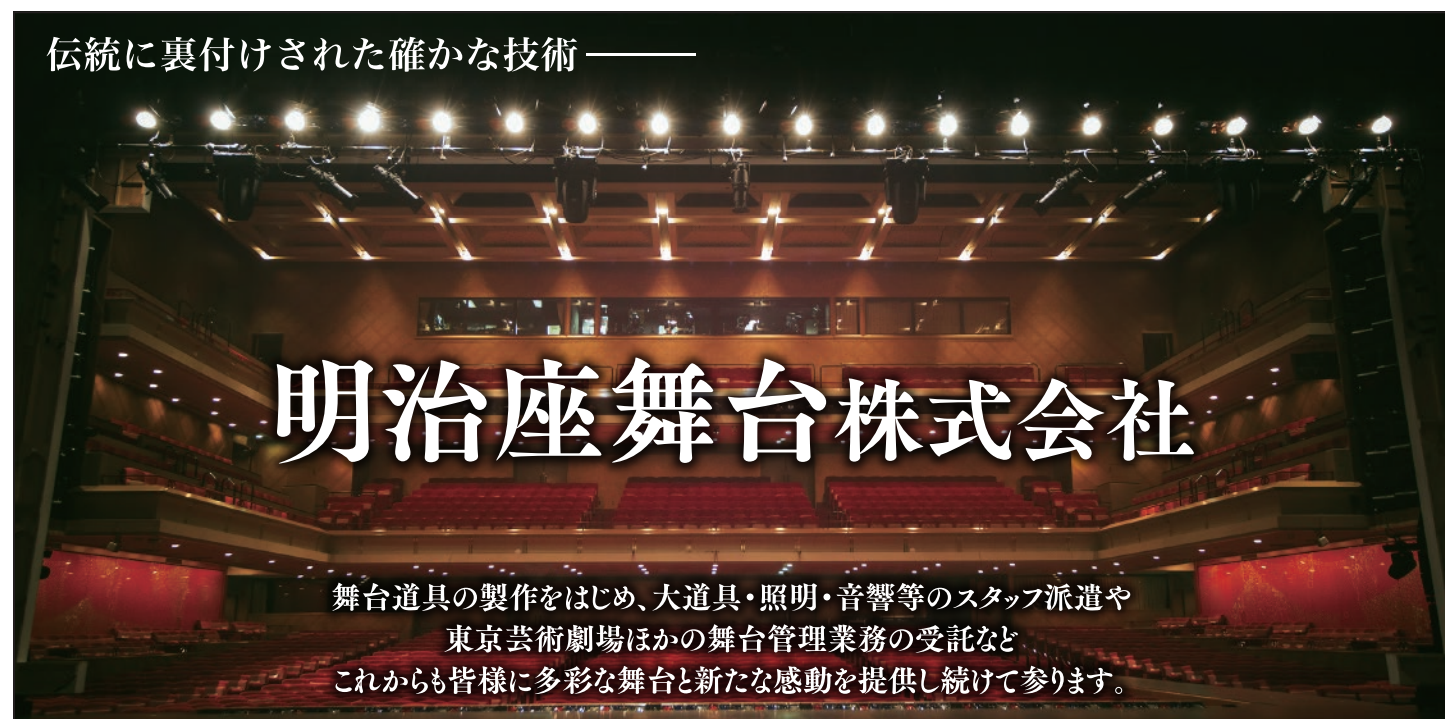
私たちと一緒に劇場で働きませんか？ 詳しい求人情報はWEBサイトにて。

ヴォートル求人



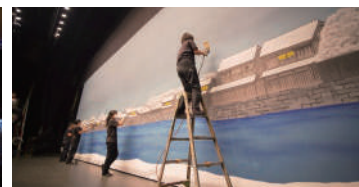
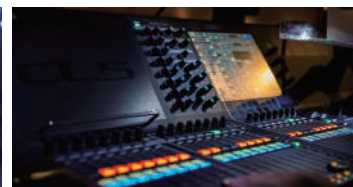
株式会社 ヴォートル 〒156-0043 東京都世田谷区松原3-40-7 Pine Field Bldg. 4F TEL 03-5355-1277 <https://www.votre.co.jp/>

## 伝統に裏付けされた確かな技術 ―――



## 明治座舞台株式会社

舞台道具の製作をはじめ、大道具・照明・音響等のスタッフ派遣や  
東京芸術劇場ほかの舞台管理業務の受託など  
これからは皆様に多彩な舞台と新たな感動を提供し続けて参ります。



### スタッフ募集中――

東京芸術劇場をはじめ各事業所にて技術スタッフを募集しています。  
お気軽にお問い合わせ下さい。

### 明治座舞台株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1  
TEL:03-3660-3919 <http://butai.meijiza.co.jp/>